

平成29年7月25日  
障がい者施策審議会平成28年度障がい者の一般就労及び定着促進事業  
(障がい者・事業主双方のニーズ調査) 【報告】

## 1 目的

福祉施設からの一般就労・定着を促進させることを目的に、障がい者・事業主双方のニーズ調査を実施する。

## 2 プロジェクトチームの設置

障がい者の就労・定着を支援する県内の支援機関が、事業を活用して効果的に課題解決を行い、併せて、調査結果を活用して、将来に向けて障がい者の一般就労及び定着を推進させることを目的に「ニーズ調査プロジェクトチーム」を設置する。

## プロジェクトチーム構成員

島根労働局職業対策課 / (独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構島根支部 / 同支部島根障害者職業センター / しまね難病相談支援センター / 松江公共職業安定所(ハローワーク代表) / 障害者就業・生活支援センター / 発達障害者支援センター / 島根県雇用政策課 / 島根県教育庁特別支援教育課 / 島根県障がい福祉課

## 3 概要

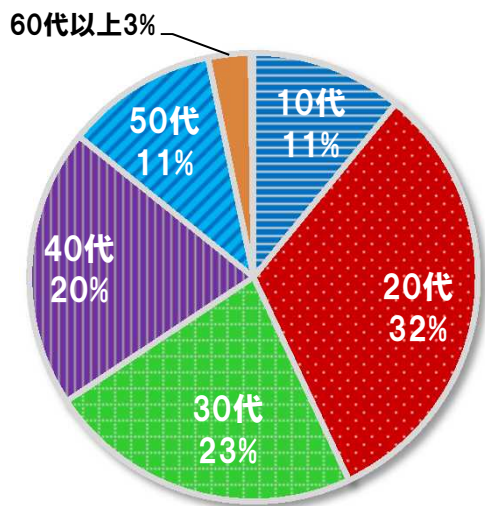
障がい者と事業主を対象に、障がい者の雇用、職場定着に資するニーズをインタビューやアンケートを通じて把握をする。

| 種類       | 障がい者のニーズ調査<br>～仕事に関するアンケート調査～   | 事業主のニーズ調査<br>～障がい者の就労と定着に関するアンケート調査～   |
|----------|---|--|
| 対象       | 一般就労を希望する障がい者<br>一般就労している障がい者   | 県内の事業所 (抽出)  |
| 調査方法     | <p>(1)インタビュー<br/>各圏域(隠岐除く)から8人の障がい者(身体(視覚・聴覚・肢体不自由)、知的、精神、発達、難病、高次脳機能障がい)</p> <p>(2)アンケート<br/>ア 対象(1,880人)<br/>①障害者就業・生活支援C登録者<br/>②福祉サービス利用者のうち、個別支援計画に一般就労を目標設定している者でセンターに登録していない者<br/>③特別支援学校平成28年度末卒業生で、一般就労希望者<br/>④HWで窓口来訪者<br/>イ 回答率<br/>・回答率 52.1% (回答数 980人)</p> | <p>(1)インタビュー<br/>各圏域(隠岐を除く)から障がい者雇用に熱心な産業分野(製造業、医療・福祉、卸・小売業)6社の事業主<br/>(2)アンケート<br/>ア 対象(1,400事業所)<br/>島根労働局、障害者就業・生活支援センター協力のもと抽出<br/>イ 回答率<br/>・回答率 50.6% (回答数 708事業所)</p>   |
| アンケートの構成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●属性</li> <li>●働くにあたって重視していること、満足していること(重視度、満足度、未充足度の5段階評価)</li> <li>●生活するうえで重視していること、満足していること(同上)</li> <li>●就労・生活支援で重視していること、満足していること(同上)</li> <li>●自由意見(一般就労や会社で長く働くことについて)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●属性</li> <li>●障がい者の就労について重視していること、満足していること(重視度、満足度、未充足度の5段階評価)</li> <li>●障がい者の定着について重視していること、満足していること(同上)</li> <li>●障がい者の就労支援で重視していること、満足していること(同上)</li> <li>●自由意見(障がい者採用時に重視すること)</li> <li>●自由意見(障がい者に対して支援機関にどんな訓練や指導を期待するのか)</li> <li>●自由意見(就労及び定着について)</li> </ul> |

## ☆ 障がい者のニーズ(アンケート)調査結果(抜粋版)

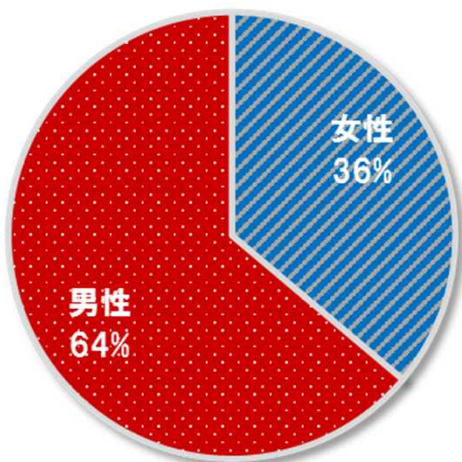
### 1. 年齢・性別・住所・家族

#### ①年齢(n979 無記入1)



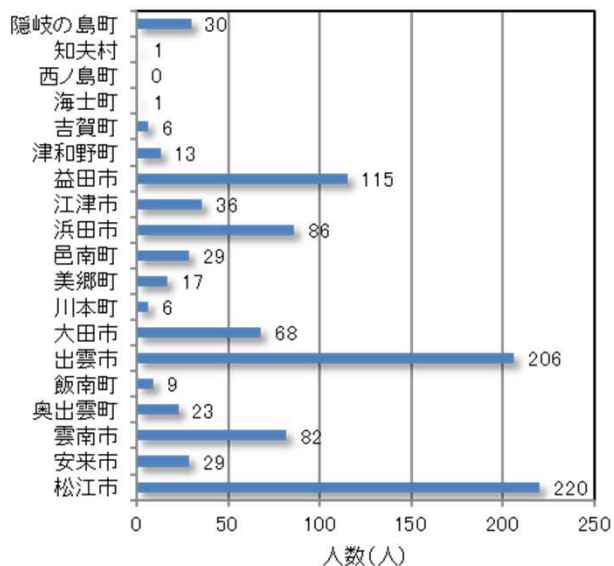
・回答者の年代内訳は、10代11%(107人)、20代32%(314人)、30代23%(222人)、40代20%(197人)、50代11%(107人)、60代以上3%(32人)である。

#### ②性別(n979 未記入1)



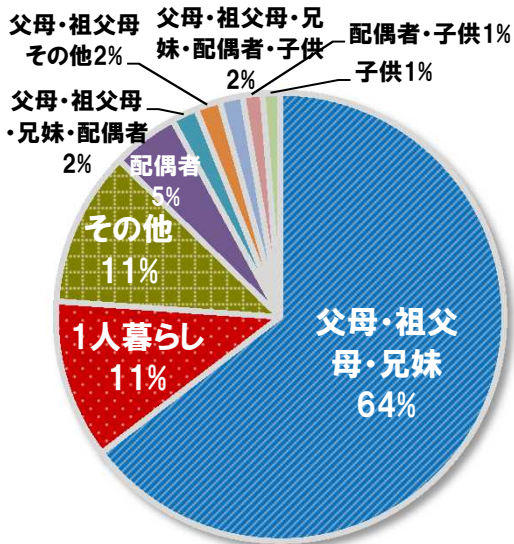
・回答者の性別内訳は、女性36%(354人)、男性64%(625人)である。

#### ③住所(n977 未記入3)



・回答者の住所は、松江市23%(220人)、出雲市21%(206人)、益田市12%(115人)、浜田市9%(86人)、雲南市8%(82人)、大田市7%(68人)などである。

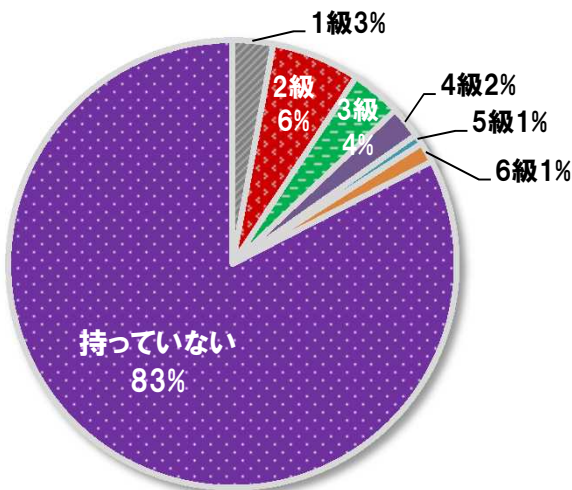
④家族(MA:複数回答 n975 無記入5)



- ・回答者の家族内訳は、父母・祖父母・兄弟 64% (625人)、1人暮らし11% (111人)、その他 11% (108人)、配偶者5% (46人) などである。
- ・親や兄弟と同居している人が多い。

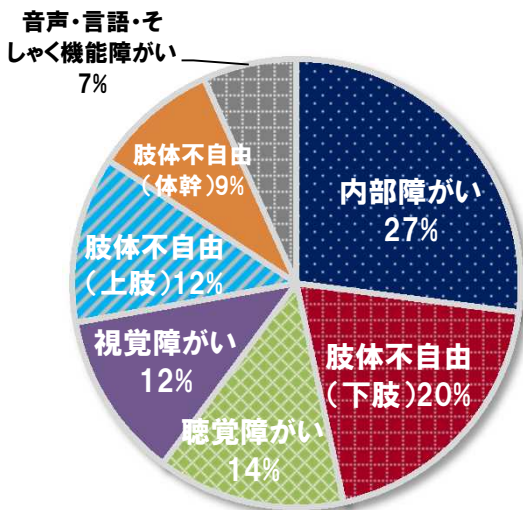
2. 障がいの状況

①身体障がい(n959 無記入21)



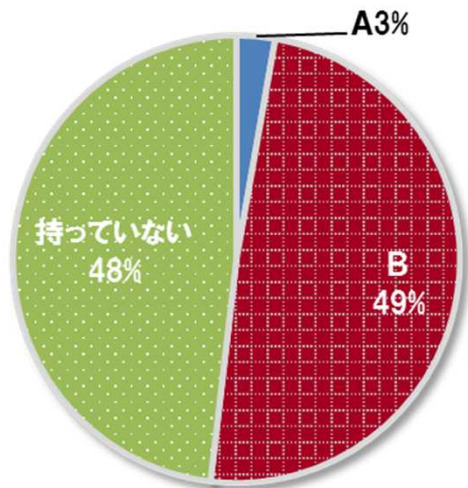
- ・身体障がい者手帳を持っている人は、1級3% (28人)、2級6% (61人)、3級4% (35人)、4級 2% (22人) 5級1% (7人)、6級1% (14人) である。
- ・回答者のうち、身体障がい者手帳を持っていた人は全体の17% (167人) であった。

②身体障がいの主な障がい(n133 無記入34)



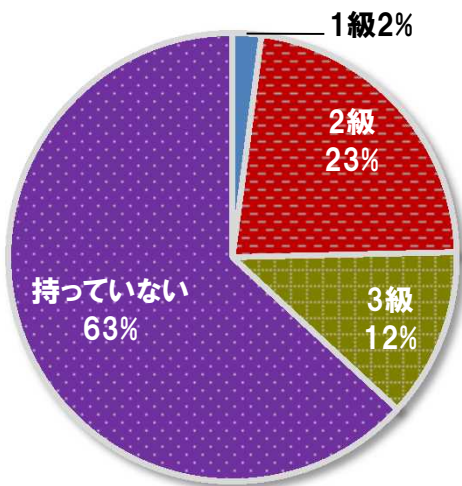
- ・身体障がい者の障がい内訳は、内部障がい が 27% (36人) で最も多く、次いで肢体不自由(下 肢)20% (26人)、聴覚障がい14% (18人)、視覚 障がい12% (16人)、肢体不自由(上肢)12% (16人)、肢体不自由(体幹)9% (12人)、音声・ 言語・そしゃく機能障がい7% (9人) であった。

③知的障がい(n970 無記入10)



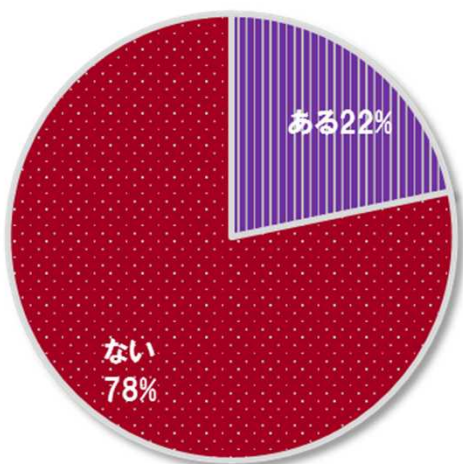
- ・療育手帳を持っている人は、Aが3% (27人)、Bが49% (476人)である。
- ・療育手帳を持っていた人は、全体の52% (503人)であった。

④精神障がい(n966 無記入14)



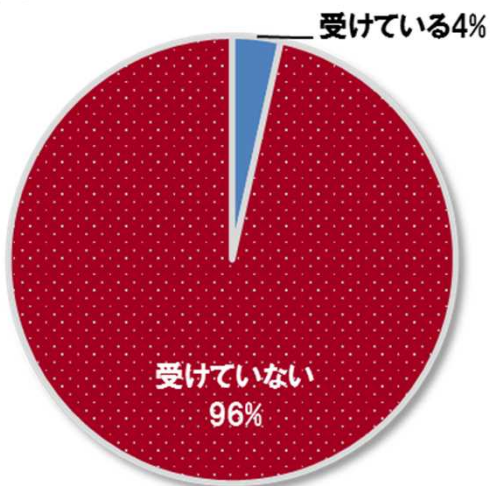
- ・精神障害者福祉手帳を持っている人は、1級2% (20人)、2級23% (218人)、3級12% (118人)である。
- ・回答者のうち、37% (356人)が精神障害者福祉手帳を持っていた。

⑤発達障がい(n943 無記入37)



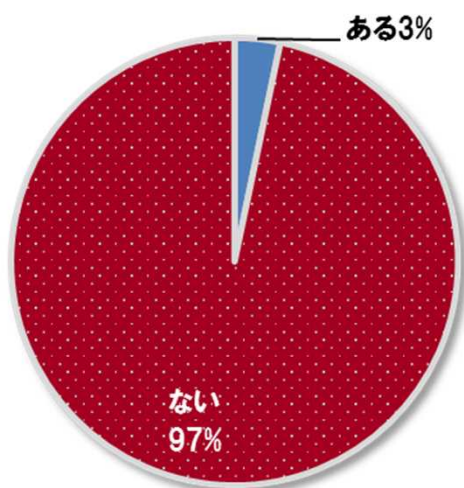
- ・発達障がいとして診断されている人は、全体の22% (205人)である。

⑥難病(n940 無記入40)



・指定難病で指定医療費の支給を受けている人は、全体の4%(33人)である。

⑦高次脳機能障がい(n942 無記入38)



・高次脳機能障がいとして診断されている人は、3%(31人)である。

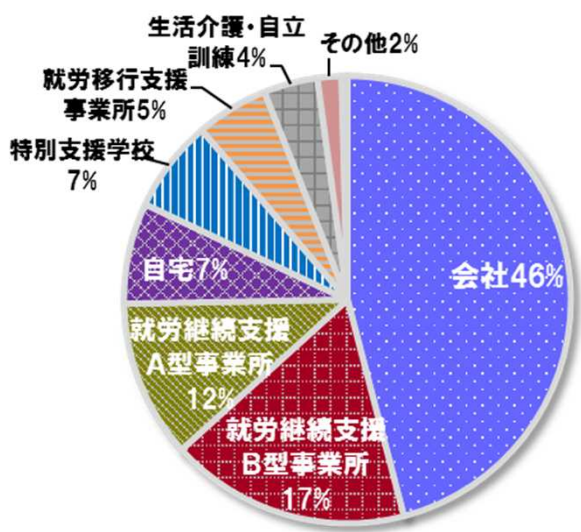
⑧障がいの状況(MA:複数回答)

|       |    | 人数(人) | 割合①(%) | 割合②(%) |
|-------|----|-------|--------|--------|
| 身体    | 1級 | 28    | 17     | 2      |
|       | 2級 | 61    | 37     | 5      |
|       | 3級 | 35    | 21     | 3      |
|       | 4級 | 22    | 13     | 2      |
|       | 5級 | 7     | 4      | 1      |
|       | 6級 | 14    | 8      | 1      |
|       | 計  | 167   | 100    | 13     |
| 知的    | A  | 27    | 5      | 2      |
|       | B  | 476   | 95     | 37     |
|       | 計  | 503   | 100    | 39     |
| 精神    | 1級 | 20    | 6      | 2      |
|       | 2級 | 218   | 61     | 17     |
|       | 3級 | 118   | 33     | 9      |
|       | 計  | 356   | 100    | 27     |
| 発達    |    | 205   |        | 16     |
| 難病    |    | 33    |        | 3      |
| 高次脳機能 |    | 31    |        | 2      |
| 合計    |    | 1295  |        | 100    |

・障がいの状況は、身体13%(167人)、知的39%(503人)、精神27%(356人)、発達16%(205人)、難病3%(33人)、高次脳機能2%(31人)であった。

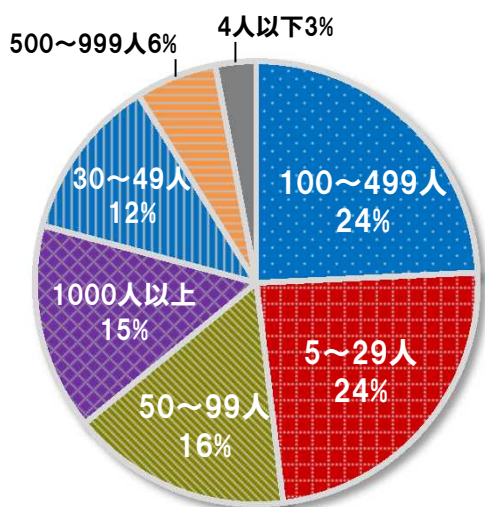
### 3. 日中の過ごし方と就労

#### ①日中の過ごし方(n973 無記入7)



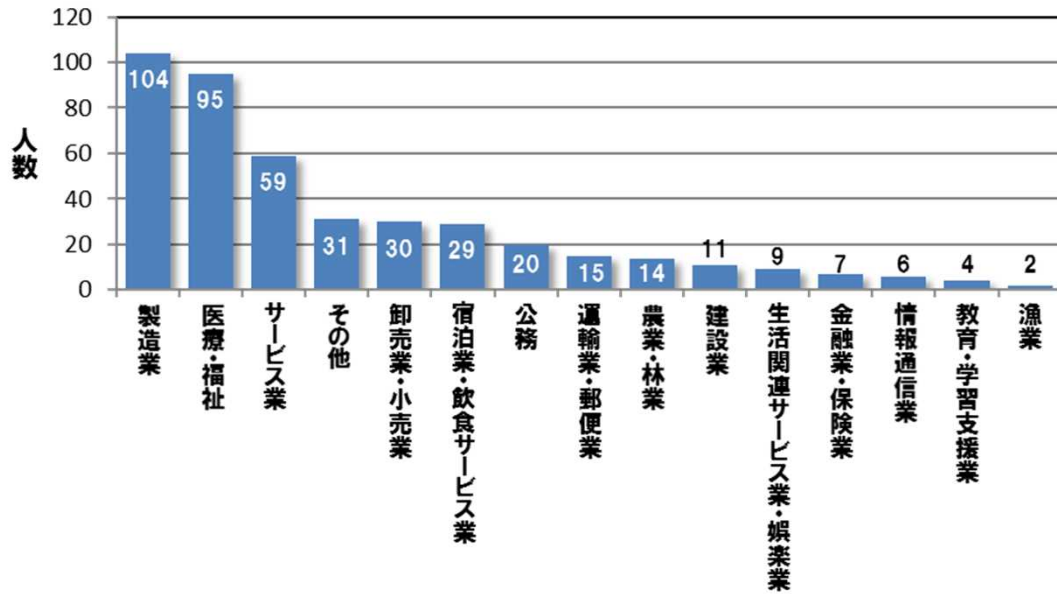
- 日中の過ごし方は、会社に勤めている人46% (447人)が最も多い。
- 次いで就労継続支援B型事業所17% (169人)、同A型事業所12% (111人)である。

#### ②会社の従業員数(n436 無記入11)



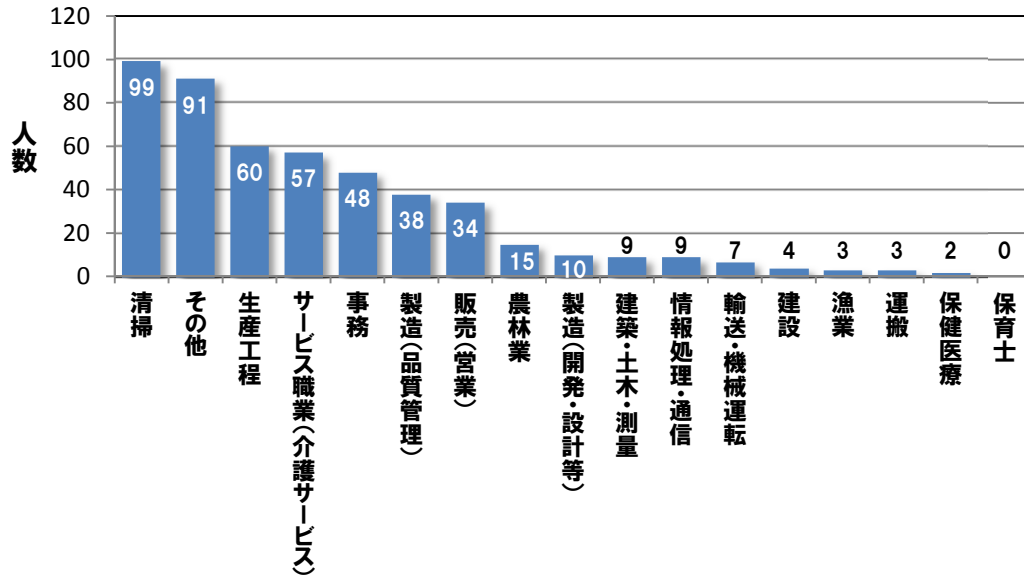
- 会社に勤めている障がい者の従業員数をみると、100~499人24% (106人)と5~29人24% (103人)が最も多い。
- 従業員50人以下の会社は、全体の39% (168人)を占めている。
- 従業員500人以上の会社は、全体の21% (92人)である。
- 従業員4人以下の会社は、全体の3% (13人)である。

③会社の業務(産業分類)(n436 無記入11)



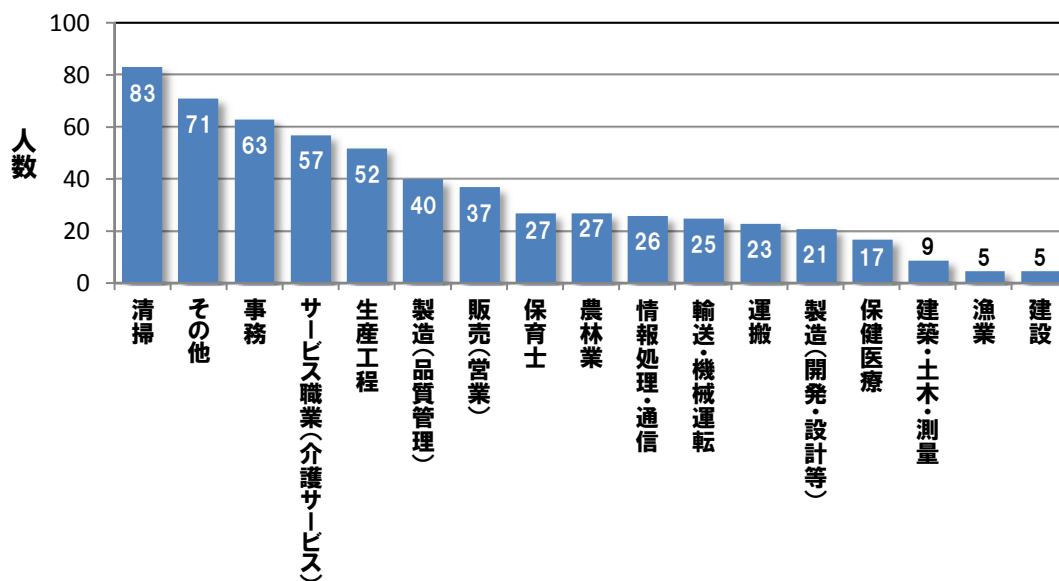
- ・障がい者が働いている会社の業務は、製造業24%(104人)、医療・福祉22%(95人)、サービス業14%(59人)などが多い。
- ・その他は、軽作業、事務、補助、助手など。

④具体的な内容(MA n489)



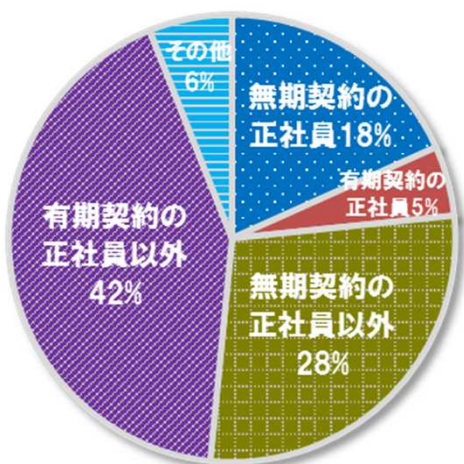
- ・会社の具体的な仕事の内容は、清掃20%(99人)、その他19%(91人)、生産工程12%(60人)、サービス職業(介護サービス)12%(57人)、事務10%(48人)が多い。
- ・その他は、調理・厨房作業、クリーニング、作業補助、雑業、分別、品出し、仕分け、接客など。

⑤障がい者本人がやりたいと思っている仕事(MA n588)



- ・やりたい仕事内容は、現在と同様に清掃14% (83人)、その他12% (71人)、事務11% (63人)、サービス職業(介護サービス) 10% (57人)、生産工程9% (52人)が多い。
- ・④の具体的な内容では少ない保育士、運搬、輸送・機械運搬、情報処理・通信、事務などを希望する人が多い。
- ・その他は、漫画家、牧場、調理、自動車関係、パソコン仕事、芸術家、お店経営など。

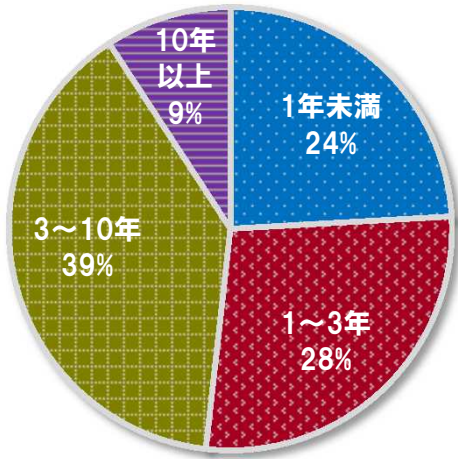
⑥雇用形態(n414 無記入33)



- ・雇用形態は、有期契約の正社員以外42% (176人)が最も多く、次いで無期契約の正社員以外28% (117人)である。
- ・正社員は、全体の23% (97人)である。



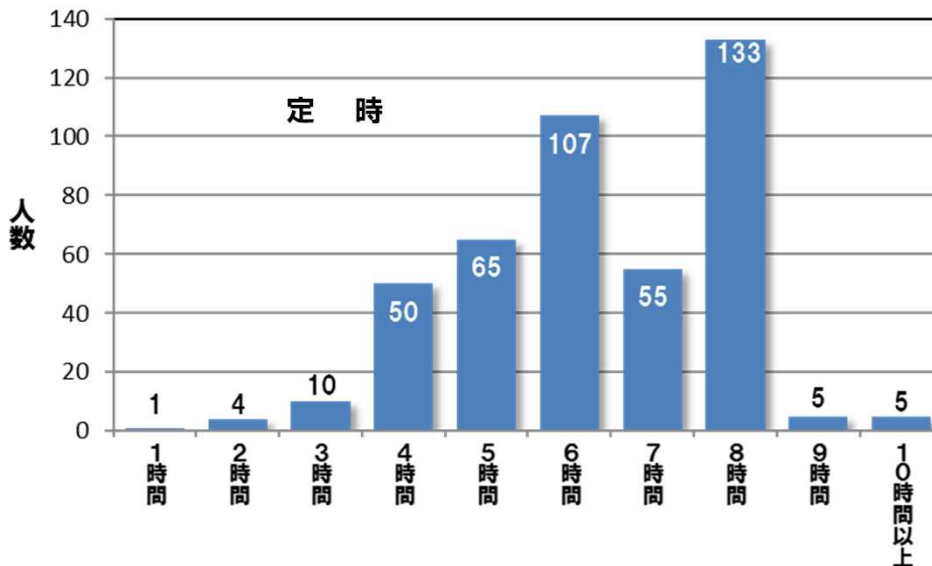
⑦勤続年数(n423 無記入24)



- ・勤続年数は、1年未満24% (102人)、1~3年28% (117人)を合わせた3年未満が全体の52%を占めている。
- ・3~10年39% (165人)が最も多い。
- ・10年以上は、9% (39人)である。

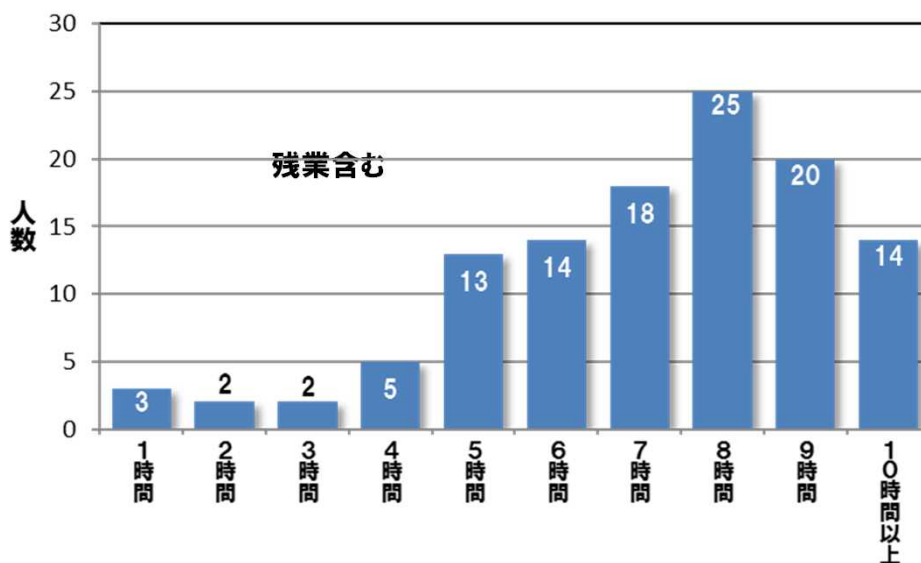
⑧一日の勤務時間数

ア 定時(n435 無記入12)



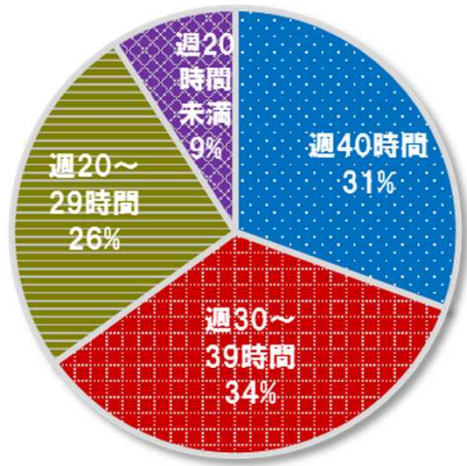
- ・一日の勤務時間は、8時間31% (133人)が最も多く、次いで6時間25% (107人)であった。

イ 残業含む(n116 無記入0)



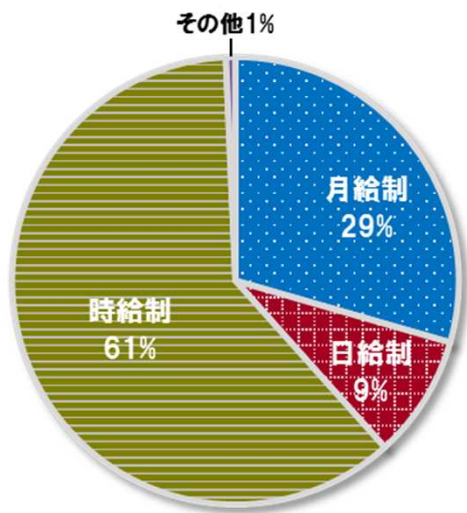
- ・残業を含む一日の勤務時間は8時間を超える人が全体の29% (34人)であった。

⑨一週間の所定労働時間(n428 無記入19)



・一週間の所定労働時間は、週30～39時間34% (148人)が最も多い。次いで、週40時間、週20～29時間の順である。

⑩賃金の支払形態(n437 無記入10)



・賃金の支払形態は、時給制61% (267人)が最も多い。  
・月給制は全体の29% (128人)である。

(2)一般就労している人

①働くことについて

ア. 重視度

注: 重視度 5 ぜひそうしたい 4 そうしたい 3 どちらともいえない  
2 そうしたくない 1 絶対そうしたくない

障がい者インタビュー  
で得られたニーズ

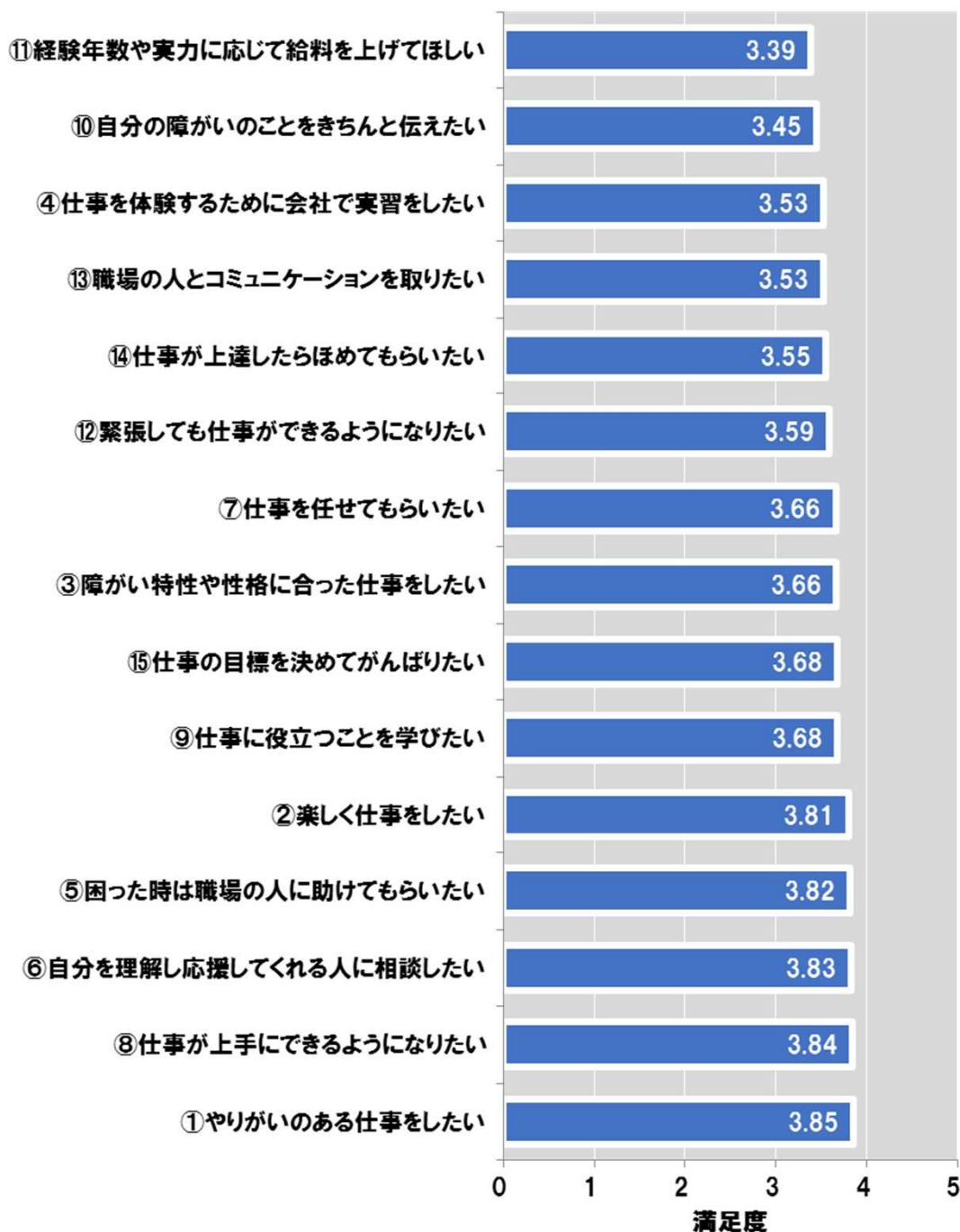


・一般就労している障がい者で、重視度が強いのは、「仕事が上手にできるようになりたい」4.44、「楽しく仕事をしたい」4.42、「自分を理解し応援してくれる人に相談したい」4.36である。  
・他の項目も「困った時は職場の人に助けてもらいたい」4.29、「やりがいのある仕事をしたい」4.24、「仕事に役立つことを学びたい」4.22、「経験年数や実力に応じて給料を上げてほしい」4.20、「緊張しても仕事ができるようになりたい」4.20、「仕事の目標を決めて頑張りたい」4.16は重視度がやや強いことがわかった。

## ①働くことについて

### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない  
2 あまり満足していない 1 満足していない

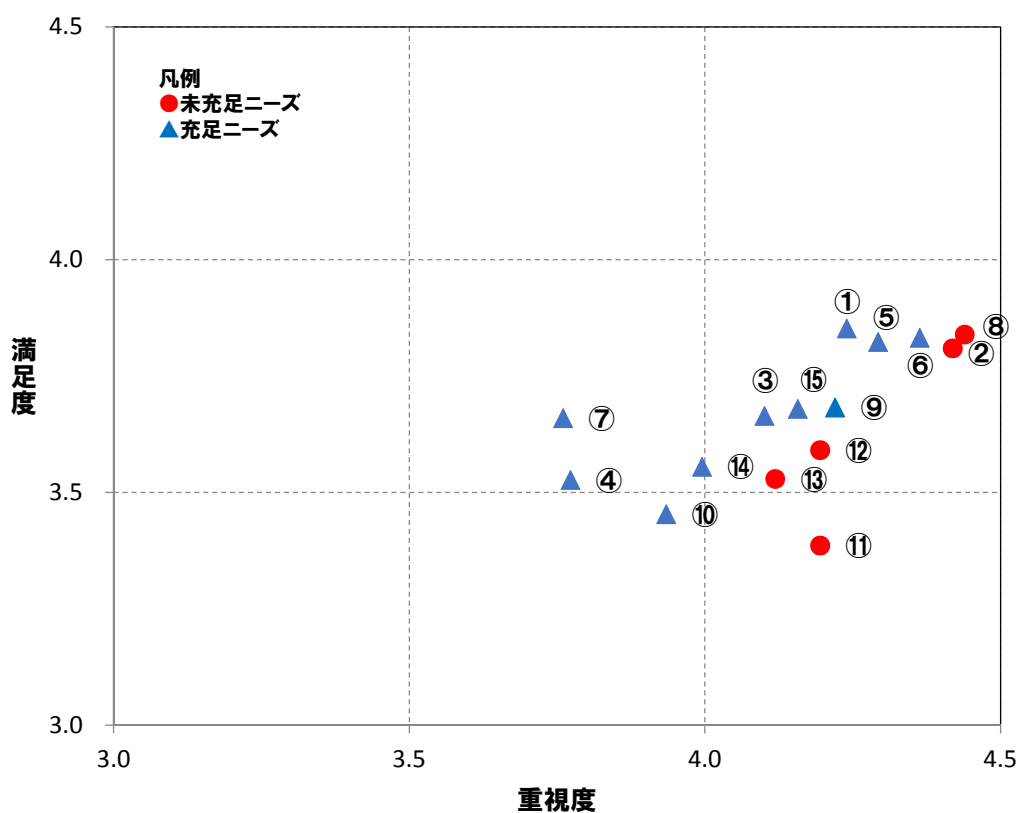


・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。  
・の中で満足度が高かったのは、「やりがいのある仕事をしたい」3.85、「仕事が上手にできるようになりたい」3.84、「自分を理解し応援してくれる人に相談したい」3.83、「困った時は職場の人に助けてもらいたい」3.82、「楽しく仕事をしたい」3.81であった。  
・最も満足度が低かったのは、「経験年数や実力に応じて給料を上げてほしい」3.39、「自分の障がいのことをきちんと伝えたい」3.45、「仕事を体験するために会社で実習をしたい」3.53、「職場の人とコミュニケーションを図りたい」3.53であった。

①働くことについて  
ウ. 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|         | ⑪ 経験年数や実力に応じて給料を上げてほしい | ② 楽しく仕事をしたい | ⑫ 緊張しても仕事ができるようになりたい | ⑧ 仕事が上手にできるようになりたい | ⑬ 職場の人とコミュニケーションを取りたい | ⑨ 仕事に役立つことを学びたい | ⑥ 自分を理解し応援してくれる人に相談したい | ⑩ 自分の障がいのことをきちんと伝えたい | ⑮ 仕事の目標を決めてがんばりたい | ⑤ 困った時は職場の人に助けてもらいたい | ⑭ 仕事が進んだらほめてもらいたい | ③ 障がい特性や性格に合った仕事をしたい | ① やりがいのある仕事をしたい | ④ 仕事を体験するために会社で実習をしたい | ⑦ 仕事を任せてもらいたい |
|---------|------------------------|-------------|----------------------|--------------------|-----------------------|-----------------|------------------------|----------------------|-------------------|----------------------|-------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|---------------|
| ①重視度    | 4.20                   | 4.42        | 4.20                 | 4.44               | 4.12                  | 4.22            | 4.36                   | 3.93                 | 4.16              | 4.29                 | 4.00              | 4.10                 | 4.24            | 3.77                  | 3.76          |
| ②満足度    | 3.39                   | 3.81        | 3.59                 | 3.84               | 3.53                  | 3.68            | 3.83                   | 3.45                 | 3.68              | 3.82                 | 3.55              | 3.66                 | 3.85            | 3.53                  | 3.66          |
| ①-②未充足度 | 0.81                   | 0.61        | 0.60                 | 0.60               | 0.59                  | 0.54            | 0.53                   | 0.48                 | 0.48              | 0.47                 | 0.44              | 0.44                 | 0.39            | 0.25                  | 0.10          |

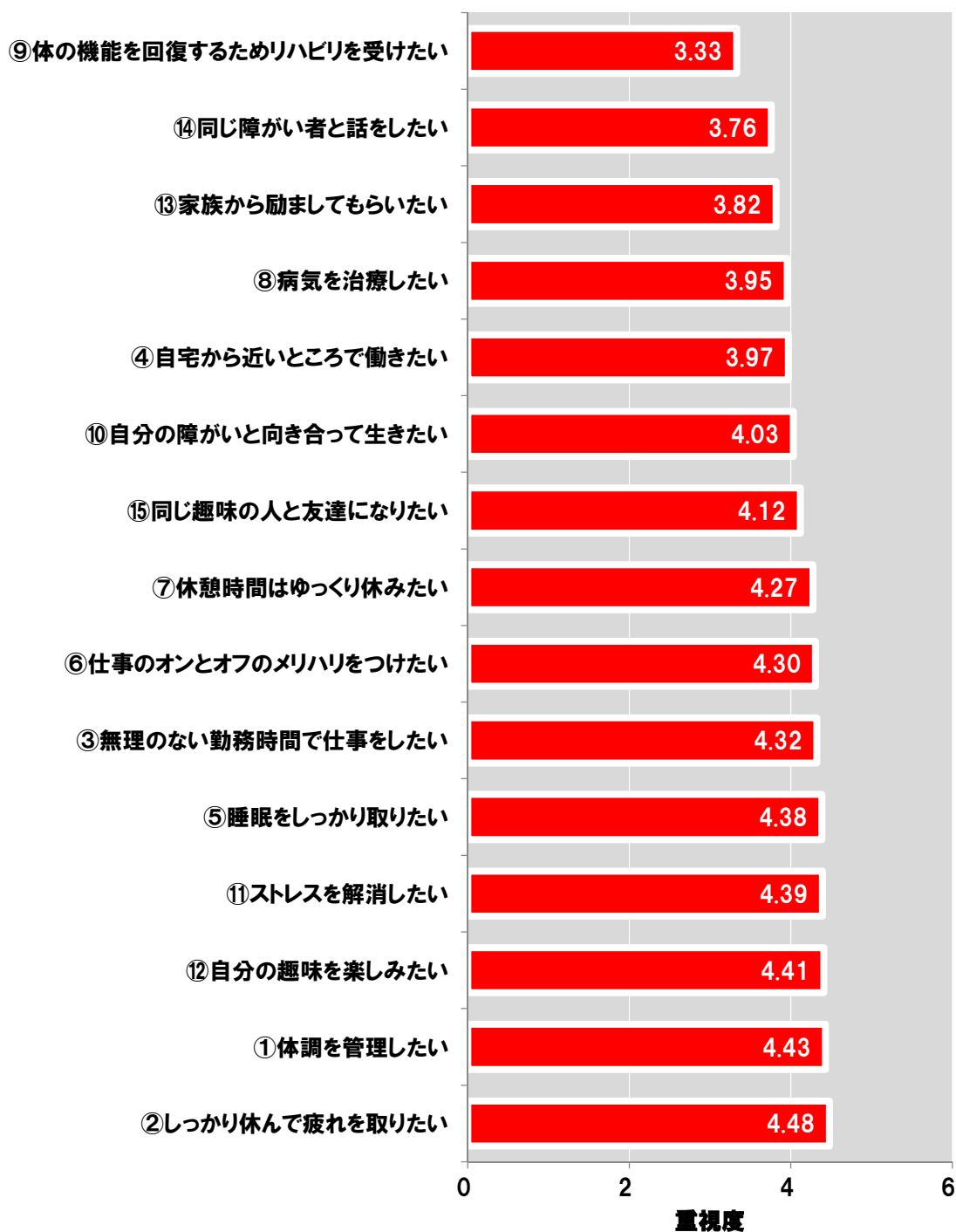


・重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「経験年数や実力に応じて給料を上げてほしい」0.81、「楽しく仕事をしたい」0.61、「緊張しても仕事ができるようになりたい」0.60、「仕事が上手にできるようになりたい」0.60、「職場の人とコミュニケーションをとりたい」0.59であった。

## ②生活することについて

### ア. 重視度

注:重視度 5 ぜひそうしたい 4 そうしたい 3 どちらともいえない  
2 そうしたくない 1 絶対そうしたくない

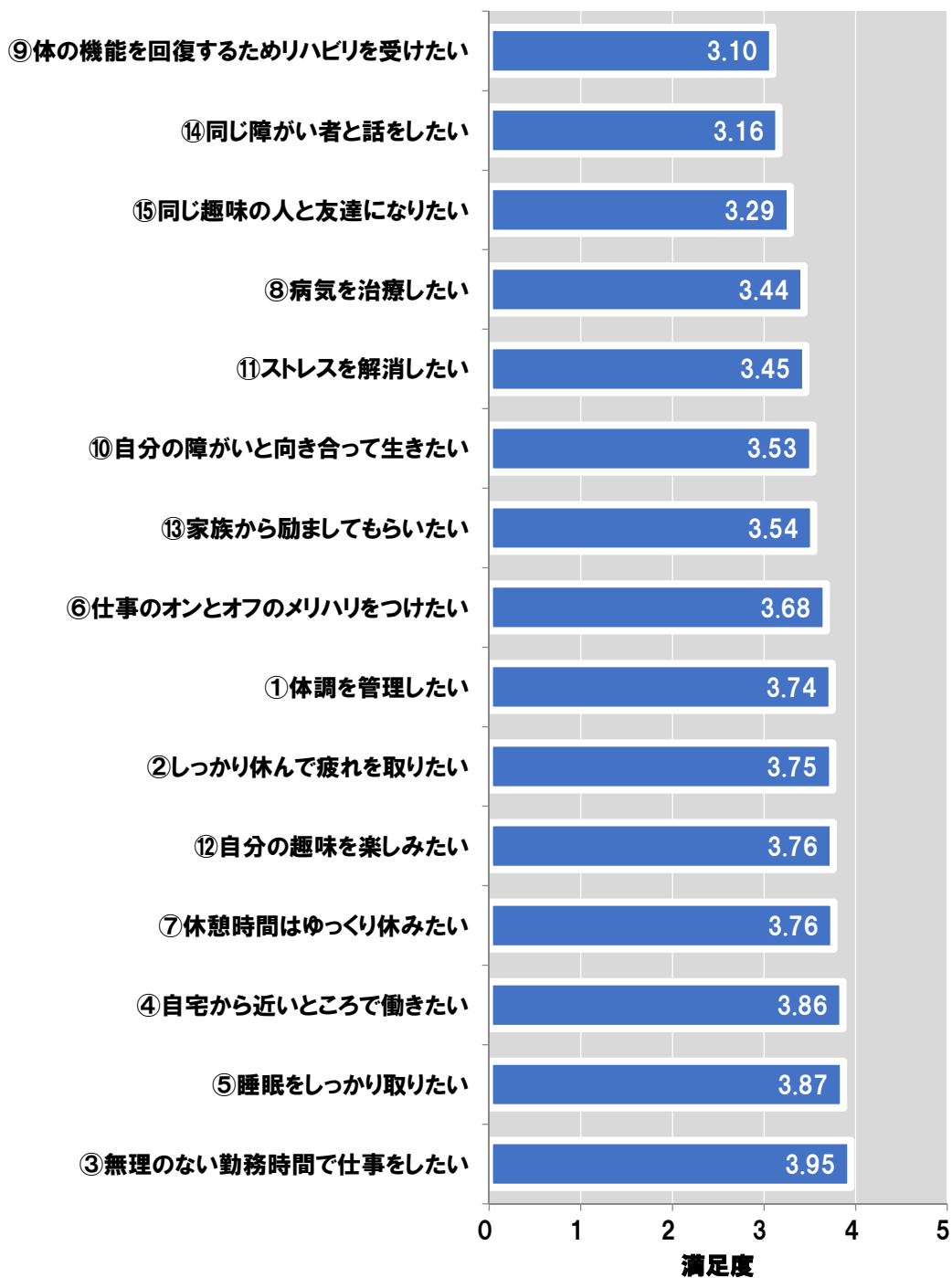


・一般就労している障がい者で、重視度が強いのは、「しっかり休んで疲れを取りたい」4.48、「体調を管理したい」4.43、「自分の趣味を楽しみたい」4.41である。  
・他の項目も「ストレスを解消したい」4.39、「睡眠をしっかり取りたい」4.38、「無理のない勤務時間で仕事をしたい」4.32、「仕事のオンとオフのメリハリをつけたい」4.30、「休憩時間はゆっくり休みたい」4.27、「同じ趣味の人と友達になりたい」4.12は重視度がやや強いことがわかった。

## ②生活することについて

### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない  
2 あまり満足していない 1 満足していない

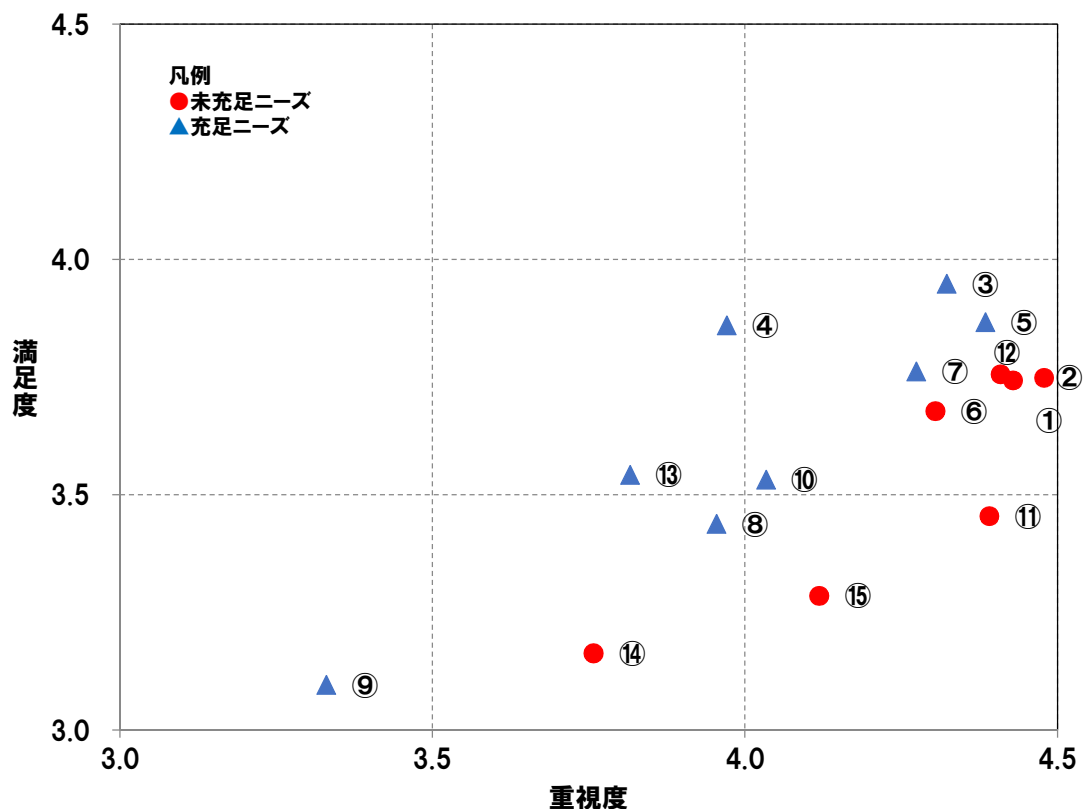


・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。  
・その中で満足度が高かったのは、「無理のない勤務時間で仕事をしたい」3.95、「睡眠をしっかり取りたい」3.87、「自宅から近いところで働きたい」3.86、「休憩時間はゆっくり休みたい」3.76、「自分の趣味を楽しみたい」3.76であった。  
・最も満足度が低かったのは、「体の機能を回復するためにリハビリを受けたい」3.10、「同じ障がい者と話をしたい」3.16、「同じ趣味の人と友達になりたい」3.29、「病気を治療したい」3.44であった。

②生活することについて  
ウ. 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|         | ⑪<br>ストレスを解消したい | ⑮<br>同じ趣味の人と友達になりたい | ②<br>しっかり休んで疲れを取りたい | ①<br>体調を管理したい | ⑫<br>自分の趣味を楽しみたい | ⑥<br>仕事のオンとオフのメリハリをつけたい | ⑭<br>同じ障がい者と話をしたい | ⑤<br>睡眠をしっかり取りたい | ⑧<br>病気を治療したい | ⑦<br>休憩時間はゆっくり休みたい | ⑩<br>自分の障がいと向き合って生きていきたい | ③<br>無理のない勤務時間で仕事をしたい | ⑬<br>家族から励ましてもらいたい | ⑨<br>体の機能を回復するためリハビリを受けたい | ④<br>自宅から近いところで働きたい |
|---------|-----------------|---------------------|---------------------|---------------|------------------|-------------------------|-------------------|------------------|---------------|--------------------|--------------------------|-----------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|
| ①重視度    | 4.39            | 4.12                | 4.48                | 4.43          | 4.41             | 4.30                    | 3.76              | 4.38             | 3.95          | 4.27               | 4.03                     | 4.32                  | 3.82               | 3.33                      | 3.97                |
| ②満足度    | 3.45            | 3.29                | 3.75                | 3.74          | 3.76             | 3.68                    | 3.16              | 3.87             | 3.44          | 3.76               | 3.53                     | 3.95                  | 3.54               | 3.1                       | 3.86                |
| ①-②未充足度 | 0.94            | 0.83                | 0.73                | 0.69          | 0.65             | 0.63                    | 0.59              | 0.52             | 0.52          | 0.51               | 0.5                      | 0.38                  | 0.27               | 0.23                      | 0.11                |



重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「ストレスを解消したい」0.94、「同じ趣味の人と友達になりたい」0.83、「しっかり休んで疲れを取りたい」0.73、「体調を管理したい」0.69、「自分の趣味を楽しみたい」0.65、「仕事のオンとオフのメリハリをつけたい」0.63、「同じ障がい者と話をしたい」0.59であった。



### ③就労や生活の支援について

#### ア. 重視度

注: 重視度 5 ぜひそうしたい 4 そうしたい 3 どちらともいえない  
2 そうしたくない 1 絶対そうしたくない



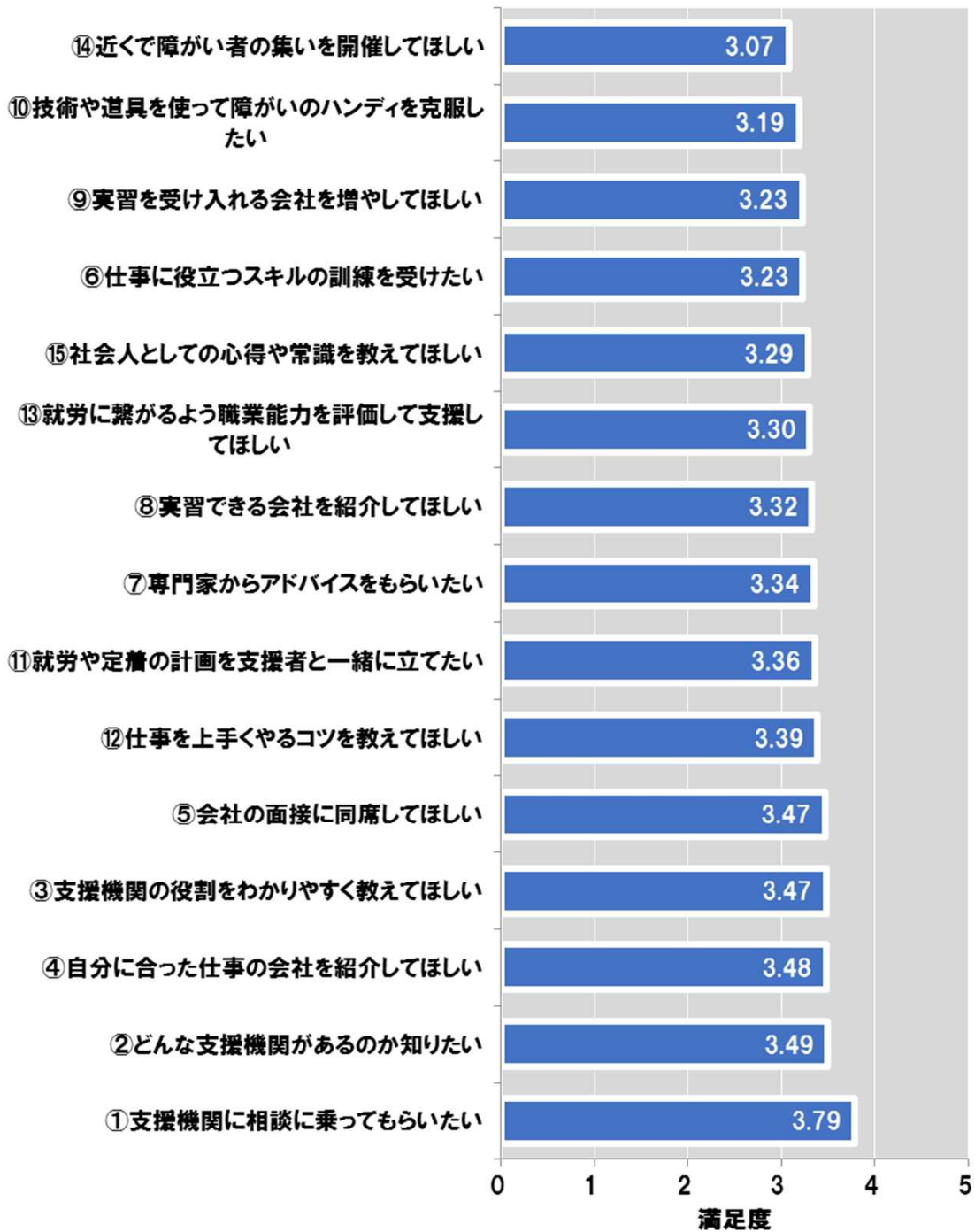
・一般就労している障がい者で、重視度が強いのは、「支援機関に相談に乗ってもらいたい」4.02、「支援機関の役割をわかりやすく教えてほしい」3.96、「仕事を上手くやるコツを教えてほしい」3.95である。

・他の項目も「どんな支援機関があるのか知りたい」3.92、「自分に合った仕事の会社を紹介してほしい」3.92、「実習を受け入れる会社を増やしてほしい」3.92、「専門家からアドバイスをもらいたい」3.77、「社会人としての心得や常識を教えてほしい」3.75は重視度がやや強いことがわかった。

### ③就労や生活の支援について

#### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない  
2 あまり満足していない 1 満足していない



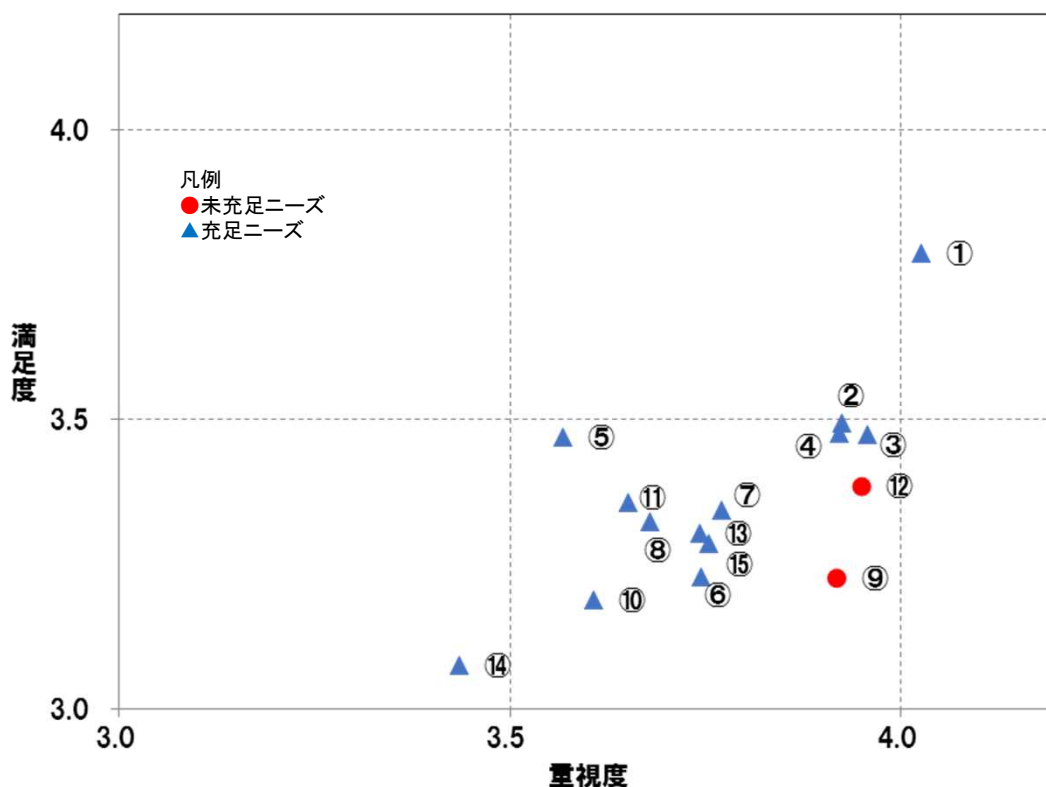
・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。  
・の中で満足度が高かったのは、「支援機関に相談に乗ってもらいたい」3.79、「どんな支援機関があるのか知りたい」3.49、「自分に合った仕事の会社を紹介してほしい」3.48、「支援機関の役割をわかりやすく教えてほしい」3.47、「会社の面接に同席してほしい」3.47であった。  
・最も満足度が低かったのは、「近くで障がい者の集いを開催してほしい」3.07、「技術や道具を使って障がいのハンディを克服したい」3.19、「実習を受け入れる会社を増やしてほしい」3.23、「仕事に役立つスキルの訓練を受けたい」3.23であった。

### ③就労や生活の支援について

#### ウ. 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|         | ⑨<br>実習を受け入れる会社を増やしてほしい | ⑫<br>仕事を上手くやるコツを教えてください | ⑥<br>仕事に役立つスキルの訓練を受けたい | ③<br>支援機関の役割をわかりやすく教えてください | ⑮<br>社会人としての心得や常識を教えてください | ④<br>自分に合った仕事の会社を紹介してほしい | ⑬<br>就労に繋がるよう職業能力を評価して支援してほしい | ②<br>どんな支援機関があるのか知りたい | ⑦<br>専門家からアドバイスをもらいたい | ⑩<br>技術や道具を使って障がいのハンディを克服したい | ⑭<br>近くで障がいの集いを開催してほしい | ⑧<br>実習できる会社を紹介してほしい | ⑪<br>就労や定着の計画を支援者と一緒に立てたい | ①<br>支援機関に相談に乗ってもらいたい | ⑤<br>会社の面接に同席してほしい |
|---------|-------------------------|-------------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------|
| ①重視度    | 3.92                    | 3.95                    | 3.74                   | 3.96                       | 3.75                      | 3.92                     | 3.74                          | 3.92                  | 3.77                  | 3.61                         | 3.43                   | 3.68                 | 3.65                      | 4.02                  | 3.57               |
| ②満足度    | 3.23                    | 3.39                    | 3.23                   | 3.47                       | 3.29                      | 3.48                     | 3.30                          | 3.49                  | 3.34                  | 3.19                         | 3.07                   | 3.32                 | 3.36                      | 3.79                  | 3.47               |
| ①-②未充足度 | 0.69                    | 0.56                    | 0.52                   | 0.48                       | 0.47                      | 0.45                     | 0.44                          | 0.43                  | 0.43                  | 0.42                         | 0.36                   | 0.36                 | 0.29                      | 0.24                  | 0.10               |



・重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「実習を受け入れる会社を増やしてほしい」0.69、「仕事を上手くやるコツを教えてください」0.56であった。

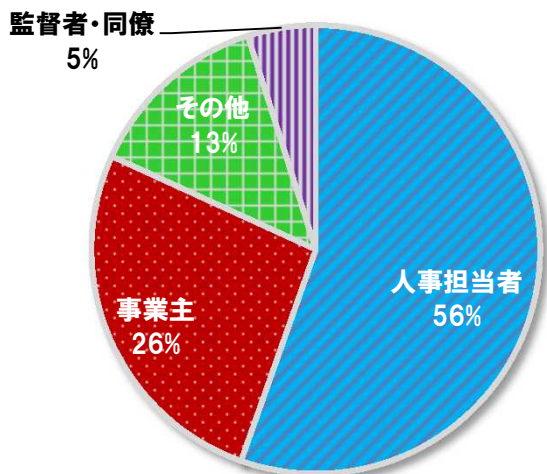
# 自由意見

| I D | 年齢 | 性別 | 障がい者の一般就労、会社で長く働くことについての自由意見  |
|-----|----|----|---|
| 14  | 45 | 男性 | 障がい者にとって生きづらさのない社会は、他の皆さんにとっても生きる上で困難や障壁のない社会たり得るのではないのでしょうか。行政の皆さんには、進路を今以上に広げて頂きたいです  |
| 16  | 43 | 女性 | 障がいがあってもできることを増やす協力が得られ、障がいをハンディと捉えず、きちんと障がいを受け入れてもらえる環境で障がいがあっても自信を持って自分らしく働ける職に就けることを望んでいます   |
| 22  | 38 | 男性 | 今の職場で8年間勤務していますが、自分の意見を聞いてもらい、それを上司と話を調整して無理なく働いていけるように今後も関わりを持ってほしい。発達障がい（アスペルガー症候群）で人との人間関係の作り方で悩むことが多いので、職場に僕の障がいについて他部署の職員にも周知してもらえるといいと思う。障がいの特性をきちんと伝えて、少しでも僕が働いていけるように支援や助言をしてほしい  |
| 51  | 20 | 女性 | 毎日休まずに仕事に出ること。体調管理をしっかりしておくこと。規則正しい生活を心がけておくこと。これらが大事です   |
| 62  | 53 | 男性 | 就労や支援については現状に満足はしていない。きめ細かな支援の取組を要請する。まだ就労していないが、障がいのことをどれだけ配慮してもらえるのか、障がい者を受け入れる企業ともよく話し合いたい   |
| 65  | 32 | 男性 | 自分是人とのコミュニケーションがとて苦手です。でも、それに負けては一般就労どころか、普通に会社にも入っていきません。今は苦しくても絶対良い方向に人は向かって生きています。だから頑張れば結果はついてくるものだと思います。自分、頑張れです   |
| 72  | 54 | 男性 | 会社の上司、先輩に注意を受けても、自分自身は腹が立っても怒らない。教わっているんだという気持ちになりたい。同じ質問を色々な上司や先輩に質問して相談するのではなく、一番信頼する上司を一人選び、その人一人だけに相談にのってもらいたいです  |
| 119 | 20 | 男性 | 毎日の体調管理と、休日には趣味がある人はしっかり時間を取ってリフレッシュをすることが長く働くためには大切だと思います  |
| 130 | 36 | 女性 | 他の従業員の方より時給が安いことがやや不満でしたが、10月から最低賃金が上がり私の時給も20円上がり、仕事に対するモチベーションが上がりました。これまでは障がいをクローズにして一般就労で働いていましたが、なかなか仕事が続かず転職を繰り返していました。今の職場では障がいをオープンにして働いているので、以前の職場よりも従業員の方が配慮していただき、働きやすくなりました。障がいをオープンにしたことで、同じ会社で長く働くことができそうだと感じています。私のように障がいをクローズにして働いておられる方でうまくいわずに困っておられる方も多いのではないかと思います。障がいをオープンにして働くことについてもっと早く知りたかったです   |
| 147 | 43 | 男性 | 長く働くためには、雇用者の障がいへの理解と暖かい目で見てもらい、一緒に仕事をしているんだという仕事への情熱と充実感が得られることだと思います。精神障がいというのは目に見えない病気ですが、言葉が足りなかったり、人が理解できないようなことをしてしまうので、仕事をする上で、足手まといになりなかなか仕事をするというのは難しいかもしれませんが、単純労働などの仕事などが長く続きやすいのでは。でも、それに満足できず、長続きせず、辞めてしまうのでは。障がいを持っていても、上の人が理解と安心感を与えてくれて、楽しんで仕事ができる(そんな楽しい仕事は無いかもしれませんが。)環境を提供してくれればうれしいです。自分の力を大いに発揮してできるような仕事があればうれしいです  |
| 150 | 26 | 女性 | 会社としての受け入れ体制なども重要ですが、それ以上に一緒に働く人達の先入観や障がいへの理解を深めていかないと色々難しい事があると思います  |
| 176 | 25 | 男性 | うまく働くためには、長く働いている人と上手な人の働き方を真似すること、それを自分のものにするといいですよ。分からないことがあったら仕事の先輩の人にどんどん聞くといいですよ。長く働くために必要なことは、あいさつをしっかりとすることと時間に遅刻しないことです。相手に信用してもらうことが必要だと思います。一番必要なことは自分の病気のことと、できること・できないことを職場の人に知ってもらうことです。これを人に言うことはとても難しいことだと思います。でもこれを知ってもらうことで確実に働きやすくなっていきます。日常生活では体調管理をしっかりすることと仕事のストレスを減らすことです。それと自分の心をコントロールすることです。仕事をしている以上イライラしたり、不安になったり、怒りたくなるときが絶対にあります。だから自分を知っている人に相談することがとても大事になります。最後に人を困らせることと迷惑になること、悲しませることは絶対にしないでください |
| 193 | 42 | 女性 | 前の会社ではできたことは褒めてもらえたけど、今の会社は褒めてもらえることはありません。できたことは褒めてほしい。前に進めるし自信になる   |
| 202 | 38 | 男性 | 良好な人間関係の構築、積極的なコミュニケーション行動、意思の目標の共有、ストレス発散の方法を身に付けて焦らずマイペースを保つことが必要だ  |
| 216 | 25 | 男性 | 私は就労移行支援を経て今の仕事に就くことができました。その間、社会でのルール、身だしなみを始め、色々な作業をすることで、沢山の経験を積むことができました。それによって自分のできる事が増えて自信ができました。その事業所の方々の努力で今の仕事を見つけていただき、現在頑張っています。私は言葉をしゃべることが苦手で、面接を何回も受けましたが、ことごとく落ちました。今の仕事は現場実習、体験を数ヶ月して就職にこぎつけました。面接のみで自信を失っていた私に、とても良い機会とチャンスを与えて頂きました。その人にできる能力を、普通の試験、面接のみで判断せず、実際に体験させてみて、多くの能力を社会に少しでも役立たせていただくとありがたいです。仕事では課題や問題点があれば、その度に就業サポートの方に間に入って頂き、職場の方と良い方向へいくようにしていただいています。自分もできるだけ上手くなり、職場の皆さんの役立てるよう頑張りたいと思います        |

## ☆ 事業主のニーズ(アンケート)調査結果(抜粋版)

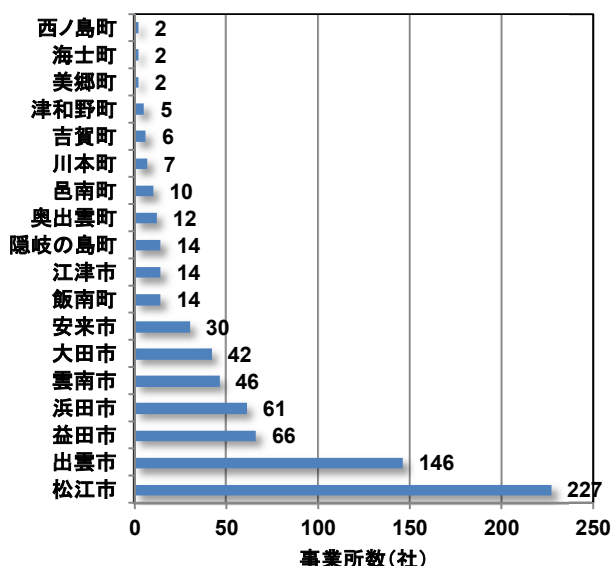
### 1. 記入者・住所・従業員数・産業分野

#### ①記入者(n693人 無回答15人)



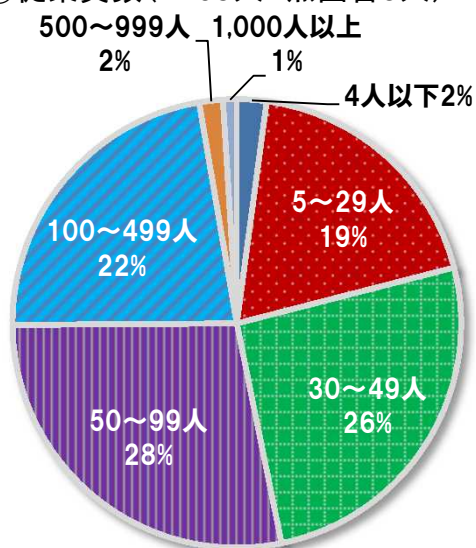
・アンケートに回答した記入者は、人事担当者56% (384人)、事業主26% (183人)、その他13% (92人)、監督者・同僚5% (34人)である。その他は、総務担当者など。

#### ②住所(n706人 無回答2人)



・回答した事業所の住所は、松江市32% (227社)、出雲市21% (146社)、益田市9% (66社)、浜田市9% (61社)、雲南市7% (46社)、大田市6% (42社)などである。

#### ③従業員数(n705人 無回答3人)



・事業所の従業員数は、4人以下2% (15社)、5~29人19% (132社)、30~49人26% (182社)、50~99人28% (199社)、100~499人22% (158社)、500~999人2% (12社)、1,000人以上1% (7社)である。

④産業分野(n703人 無回答5人)

| 産業分野          | 事業所数 | 割合  |
|---------------|------|-----|
| 医療・福祉         | 159  | 22  |
| 製造業           | 136  | 19  |
| 建設業           | 75   | 11  |
| 卸売業・小売業       | 70   | 10  |
| サービス業         | 67   | 9   |
| その他           | 34   | 5   |
| 宿泊業・飲食サービス業   | 30   | 4   |
| 農業・林業         | 27   | 4   |
| 運輸業・郵便業       | 22   | 3   |
| 生活関連サービス業・娯楽業 | 21   | 3   |
| 金融業・保険業       | 17   | 2   |
| 教育・学習支援業      | 16   | 2   |
| 公務            | 14   | 2   |
| 情報通信業         | 11   | 2   |
| 漁業            | 4    | 1   |
| 未記入           | 5    | 1   |
| 計             | 708  | 100 |

・事業所の産業分野内訳は、医療・福祉22%(159社)、製造業19%(136社)、建設業11%(75社)、卸売業・小売業10%(70社)、サービス業9%(67社)などである。  
 ・医療・福祉が全体の四分の一を占める。

2. 障がい者雇用の状況

①障がい別・週の所定労働時間別

|       | 週の所定労働時間 | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | 発達障がい | 難病  | 高次脳機能障がい | その他 | 計    |
|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|-----|------|
| 実数    | 20時間未満   | 26    | 16    | 22    | 2     | 0   | 0        | 1   | 67   |
|       | 20～29時間  | 68    | 125   | 57    | 13    | 1   | 3        | 1   | 268  |
|       | 30～39時間  | 285   | 128   | 57    | 8     | 22  | 4        | 1   | 505  |
|       | 40時間     | 300   | 114   | 59    | 17    | 3   | 2        | 4   | 499  |
|       | 計        | 679   | 383   | 195   | 40    | 26  | 9        | 7   | 1339 |
| 割合(%) | 20時間未満   | 4     | 4     | 11    | 5     | 0   | 0        | 14  | 5    |
|       | 20～29時間  | 10    | 33    | 29    | 33    | 4   | 33       | 14  | 20   |
|       | 30～39時間  | 42    | 33    | 29    | 20    | 85  | 44       | 14  | 38   |
|       | 40時間     | 44    | 30    | 30    | 43    | 12  | 22       | 57  | 37   |
|       | 計        | 100   | 100   | 100   | 100   | 100 | 100      | 100 | 100  |

- ・障がい者全体の週の所定労働時間は、30～39時間および40時間が多い。
- ・身体障がい者や発達障がい者は、40時間が40%以上を占めている。
- ・一方、精神障がい者では、20時間未満が1割を占めている。

## ②障がい別・雇用形態別

|       | 雇用形態   | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | 発達障がい | 難病  | 高次脳機能障がい | その他 | 計    |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|-----|------|
| 実数    | 無期正社員  | 333   | 142   | 47    | 21    | 7   | 4        | 4   | 558  |
|       | 有期正社員  | 68    | 14    | 13    | 2     | 17  | 0        | 0   | 114  |
|       | 無期非正社員 | 42    | 54    | 36    | 4     | 1   | 2        | 2   | 141  |
|       | 有期非正社員 | 236   | 168   | 93    | 14    | 0   | 3        | 1   | 515  |
|       | その他    | 0     | 7     | 1     | 0     | 1   | 0        | 1   | 10   |
|       | 計      | 679   | 385   | 190   | 41    | 26  | 9        | 8   | 1338 |
| 割合（％） | 無期正社員  | 49    | 37    | 25    | 51    | 27  | 44       | 50  | 42   |
|       | 有期正社員  | 10    | 4     | 7     | 5     | 65  | 0        | 0   | 9    |
|       | 無期非正社員 | 6     | 14    | 19    | 10    | 4   | 22       | 25  | 11   |
|       | 有期非正社員 | 35    | 44    | 49    | 34    | 0   | 33       | 13  | 38   |
|       | その他    | 0     | 2     | 1     | 0     | 4   | 0        | 13  | 1    |
|       | 計      | 100   | 100   | 100   | 100   | 100 | 100      | 100 | 100  |

- ・障がい者全体の雇用形態は、無期正社員が42%（558人）で最も多く、次いで有期非正社員38%（515人）の順である。
- ・非正社員の割合が最も多いのは、精神障がいである。
- ・無期正社員の割合が最も高いのは、発達障がいである。

※非正社員とは、派遣労働者、パートタイマー、臨時、日雇い、契約社員、登録社員、嘱託、出向中をいう。

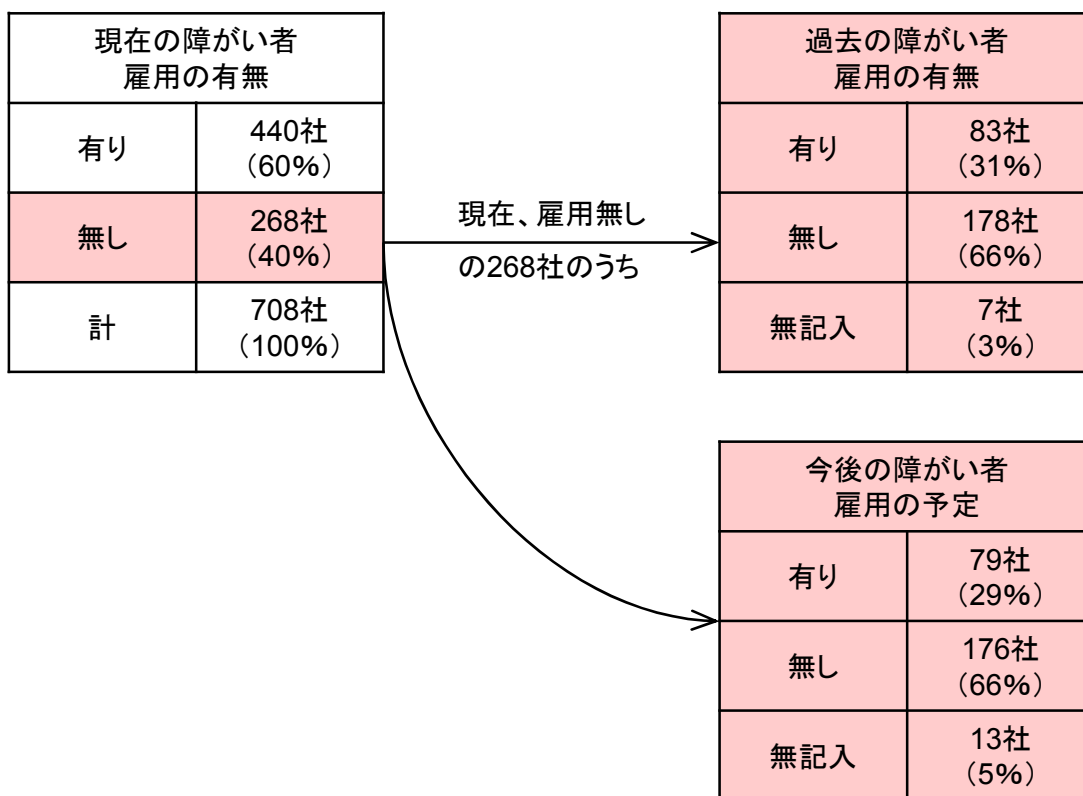
## ③障がい別・勤務年数別

|       | 勤務年数  | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい | 発達障がい | 難病  | 高次脳機能障がい | その他 | 計    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|-----|------|
| 実数    | 1年未満  | 46    | 58    | 61    | 8     | 2   | 1        | 1   | 177  |
|       | 1～3年  | 87    | 83    | 55    | 11    | 1   | 4        | 0   | 241  |
|       | 3～10年 | 201   | 167   | 55    | 17    | 5   | 3        | 2   | 450  |
|       | 10年以上 | 338   | 67    | 18    | 4     | 18  | 0        | 3   | 448  |
|       | 計     | 672   | 375   | 189   | 40    | 26  | 8        | 6   | 1316 |
| 割合（％） | 1年未満  | 7     | 15    | 32    | 20    | 8   | 13       | 17  | 13   |
|       | 1～3年  | 13    | 22    | 29    | 28    | 4   | 50       | 0   | 18   |
|       | 3～10年 | 30    | 45    | 29    | 43    | 19  | 38       | 33  | 34   |
|       | 10年以上 | 50    | 18    | 10    | 10    | 69  | 0        | 50  | 34   |
|       | 計     | 100   | 100   | 100   | 100   | 100 | 100      | 100 | 100  |

- ・障がい者の勤務年数は、3～10年と10年以上がそれぞれ三分の一を占めている。
- ・勤務年数10年以上が多い障がいは、身体障がいと難病である。
- ・1年未満が多い障がいは、精神障がいである。

※2①～③の障がい種別の計は、それぞれ質問に無回答があるため不一致の場合がある。

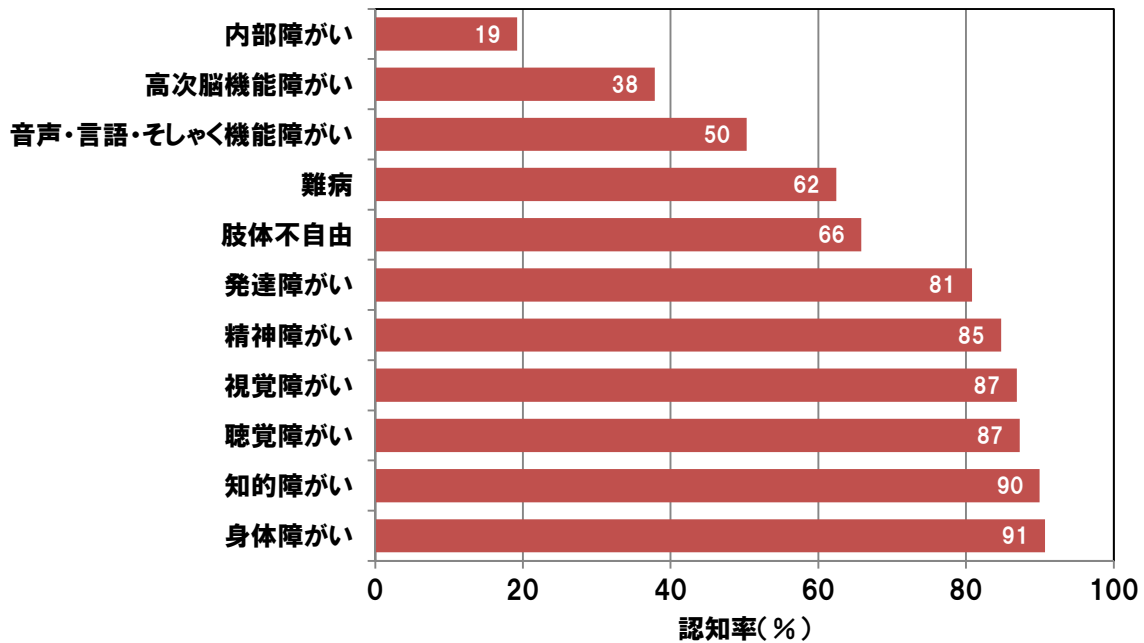
④障がい者雇用の状況について



- ・アンケートに回答した事業所のうち、現在障がい者を雇用していないのは、40% (268社)であった。
- ・そのうち、過去に障がい者を雇用したことがある事業所は、31% (83社)であった。
- ・また、同268社に、今後の障がい者雇用の予定を聞いたところ、29% (79社)が雇用を希望していた。

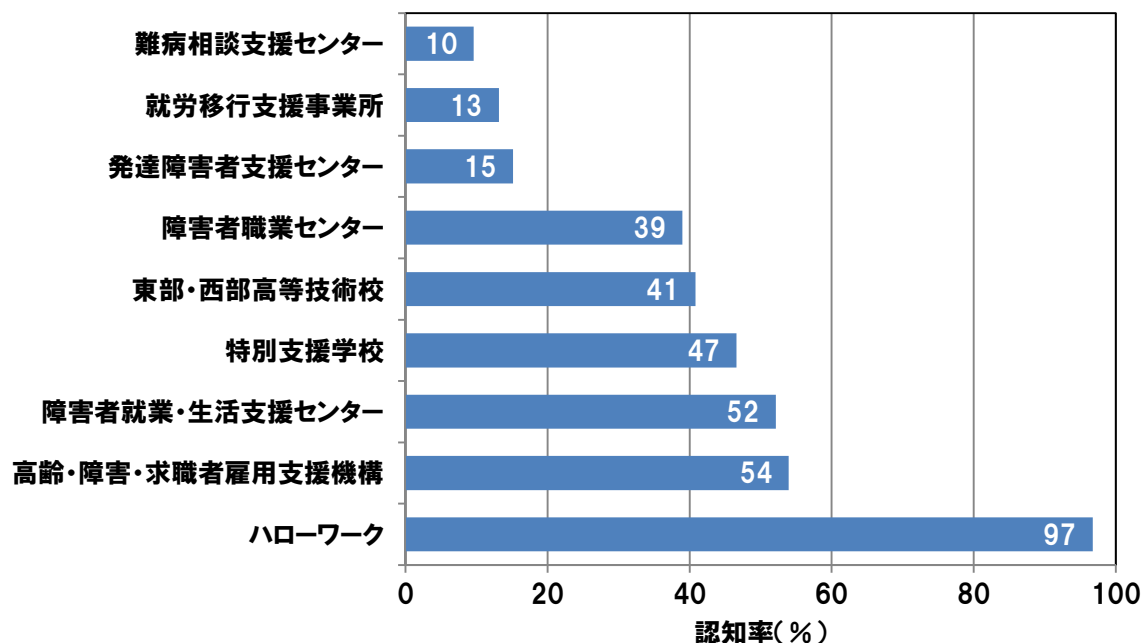


### 3. 障がいに関する認知について(MA:複数回答 n708)



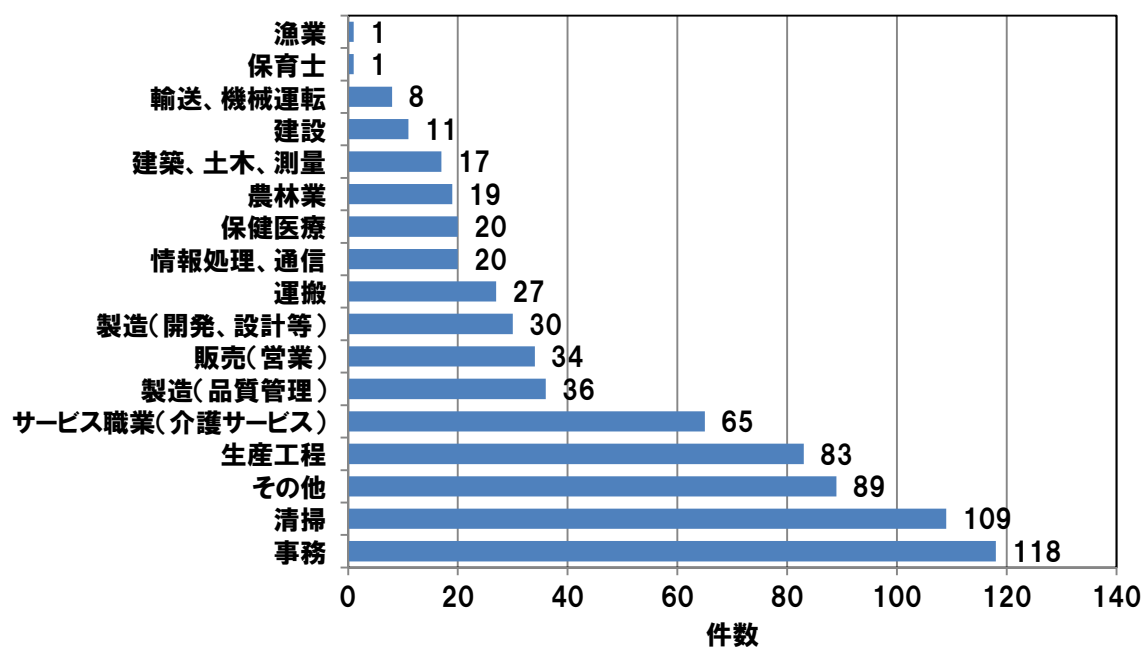
- ・障がいに関する認知率を見ると、身体障がいと知的障がいのが90%以上で最も高い。
- ・聴覚障がい、視覚障がい、精神障がい、発達障がいは、80%台で概ね認知されている。
- ・肢体不自由、難病、音声・言語・そしゃく機能障がいの認知率は50~60%であった。
- ・高次脳機能障がいと内部障がいは、あまり認知されていない。

### 4. 支援機関に関する認知について(MA:複数回答 n708)



- ・最も認知率が高い支援機関は、ハローワークでほぼ全員が知っていた。
- ・高齢・障害・求職者雇用支援機構、障害者就業・生活支援センターの認知率は約50%である。
- ・東部・西部高等技術校、障害者職業センターは40%程度であった。
- ・他の支援機関の認知率は10%台で非常に低い。

## 5. 障がい者に行ってもらっている仕事(MA n688)



- ・事業所が障がい者にさせている仕事は、事務(118人)と清掃(109人)が最も多い。
- ・その他の内訳は、警備、洗濯、接客(受付)、調理など他の仕事への分類が不可能なものである。
- ・他には、生産工程、サービス職業などが多い。

(2) 現在障がい者を雇用している事業所

① 障がい者の就労について

ア. 重視度

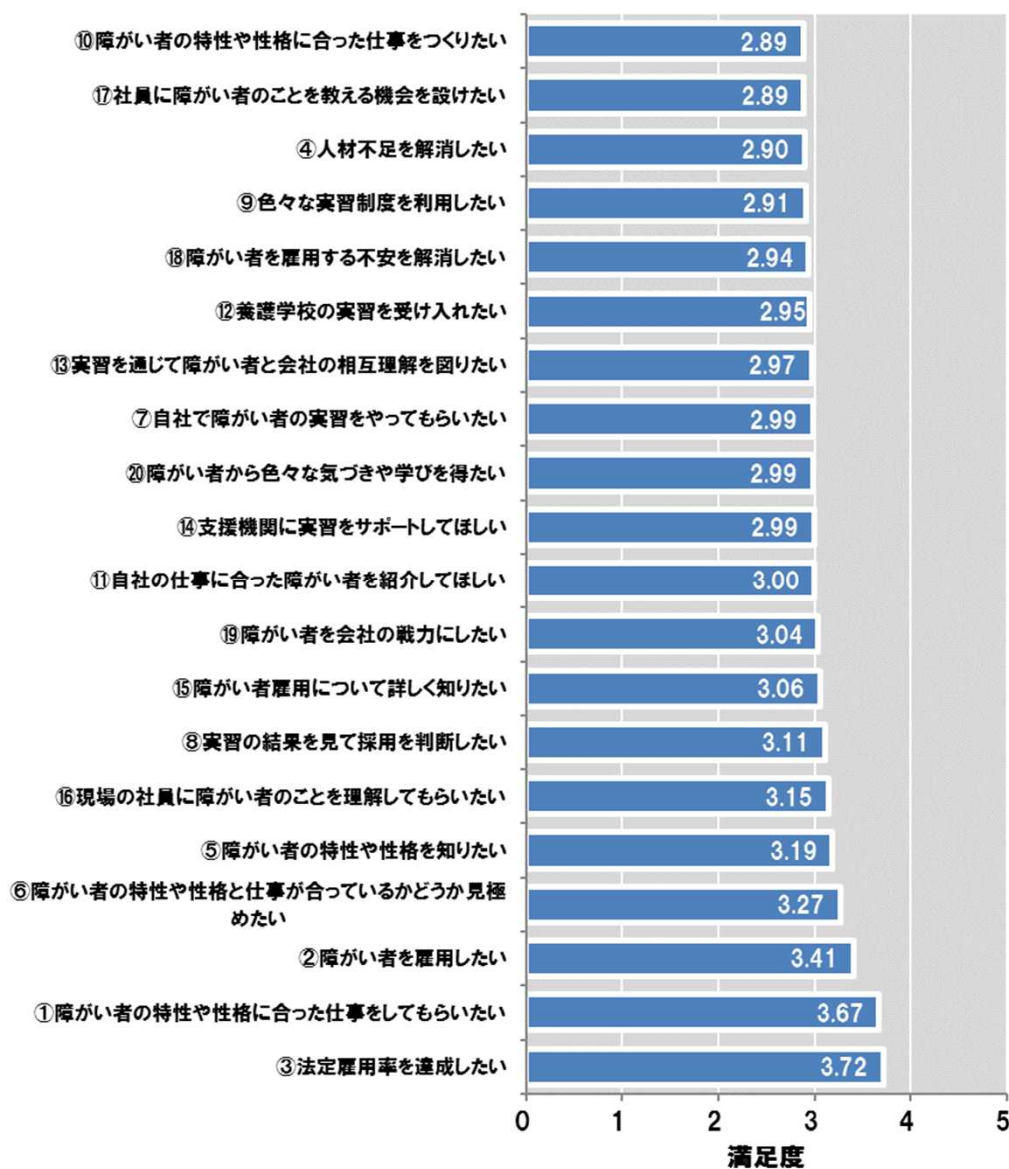


・重視度が強いニーズは、「障がい者の特性や性格に合った仕事をしてもらいたい」4.13、「法定雇用率を達成したい」4.08、「現場の社員に障がい者のことを理解してもらいたい」4.06、「障がい者の特性や性格と仕事が合っているかどうか見極めたい」4.05である。  
 ・他にも「障がい者の特性や性格を知りたい」3.93、「人材不足を解消したい」3.88、「障がい者を雇用する不安を解消したい」3.84がやや強いことがわかった。

## ①障がい者の就労について

### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない 2 あまり満足していない 1 満足していない

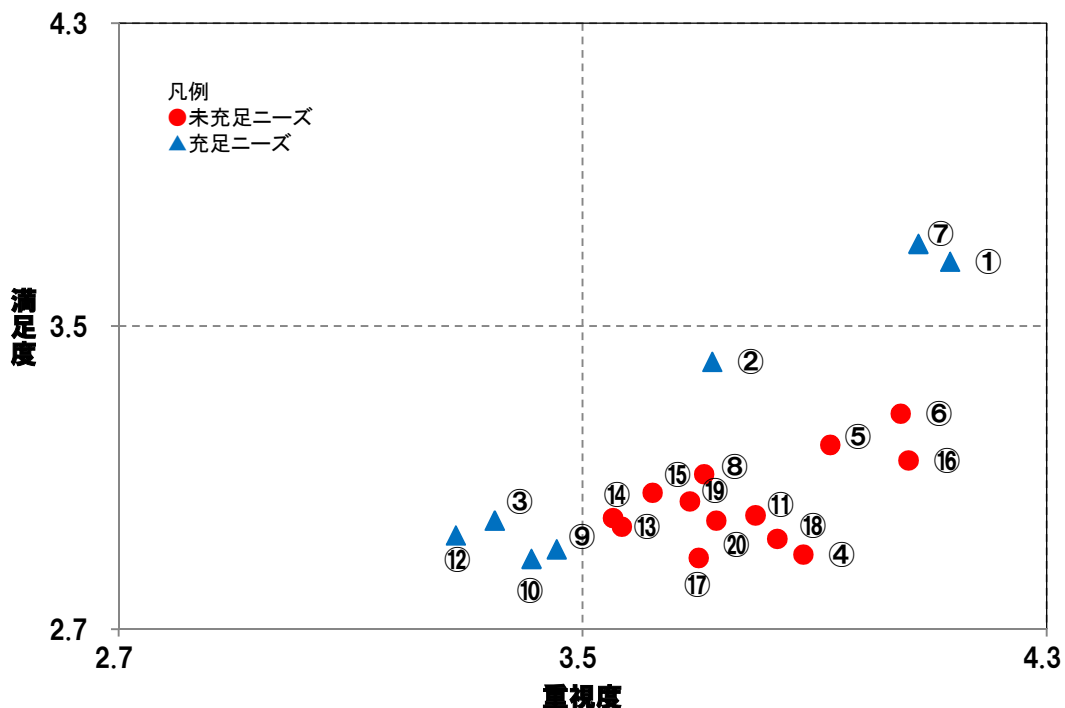


- ・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。
- ・その中で満足度が高かったのは、「法定雇用率を達成したい」3.72、「障がい者の特性や性格に合った仕事をしてもらいたい」3.67であった。
- ・全体的に満足度が低く、障がい者の就労に関するニーズが満たされていないことがわかった。
- ・最も満足度が低かったのは、「障がい者の特性や性格に合った仕事をつくりたい」2.89、「社員に障がい者のことを教える機会を設けたい」2.89、「人材不足を解消したい」2.90、「色々な実習制度を利用したい」2.91であった。

①障がい者の就労について  
ウ 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|        |              |                           |                     |                         |                         |                                |                       |                   |                  |                   |                           |                     |                     |                 |                          |                          |                       |               |                  |              |
|--------|--------------|---------------------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------|------------------|--------------|
|        | ④ 人材不足を解消したい | ⑬ 現場の社員に障がい者のことを理解してもらいたい | ⑭ 障がい者を雇用する不安を解消したい | ⑮ 社員に障がい者のことを教える機会を設けたい | ⑯ 自社の仕事に合った障がい者を紹介してほしい | ⑰ 障がい者の特性や性格と仕事が合っているかどうか見極めたい | ⑱ 障がい者から色々な気づきや学びを得たい | ⑲ 障がい者の特性や性格を知りたい | ⑲ 障がい者を会社の戦力にしたい | ⑲ 実習結果を見て採用を判断したい | ⑲ 実習を通じて障がい者と会社の相互理解を図りたい | ⑲ 障がい者雇用について詳しく知りたい | ⑲ 支援機関に実習をサポートしてほしい | ⑲ 色々な実習制度を利用したい | ⑲ 障がい者の特性や性格に合った仕事をつくりたい | ⑲ 障がい者の特性や性格に合った仕事をつくりたい | ⑲ 自社で障がい者の実習をやってもらいたい | ⑲ 法定雇用率を達成したい | ⑲ 養護学校の実習を受け入れたい | ⑲ 障がい者を雇用したい |
| ①重視度   | 3.88         | 4.06                      | 3.84                | 3.70                    | 3.80                    | 4.05                           | 3.73                  | 3.93              | 3.68             | 3.71              | 3.57                      | 3.62                | 3.55                | 3.46            | 3.41                     | 4.13                     | 3.35                  | 4.08          | 3.28             | 3.72         |
| ②満足度   | 2.90         | 3.15                      | 2.94                | 2.89                    | 3.00                    | 3.27                           | 2.99                  | 3.19              | 3.04             | 3.11              | 2.97                      | 3.06                | 2.99                | 2.91            | 2.89                     | 3.67                     | 2.99                  | 3.72          | 2.95             | 3.41         |
| ①-②未充足 | 0.98         | 0.92                      | 0.90                | 0.81                    | 0.80                    | 0.78                           | 0.74                  | 0.74              | 0.65             | 0.60              | 0.60                      | 0.56                | 0.56                | 0.54            | 0.53                     | 0.46                     | 0.36                  | 0.36          | 0.33             | 0.32         |

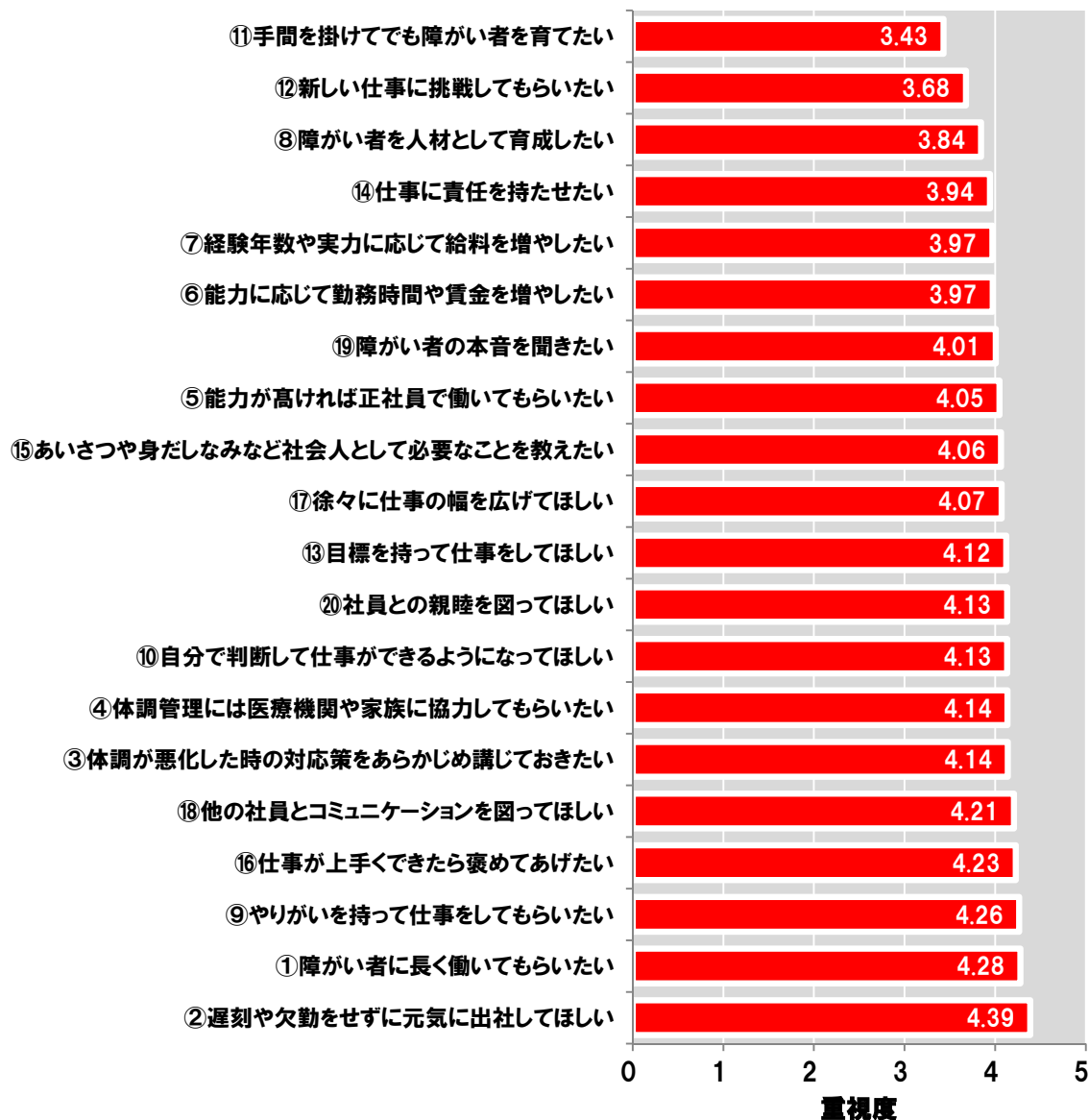


・重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「人材不足を解消したい」0.98、「現場の社員に障がい者のことを理解してもらいたい」0.92、「障がい者を雇用する不安を解消したい」0.90、「社員に障がい者のことを教える機会を設けたい」0.81、「自社の仕事に合った障がい者を紹介してほしい」0.80、「障がい者の特性や性格と仕事が合っているかどうか見極めたい」0.78などであった。

## ②障がい者の定着について

### ア. 重視度

注:重視度 5 ぜひそうしたい 4 そうしたい 3 どちらともいえない  
2 そうしたくない 1 絶対そうしたくない

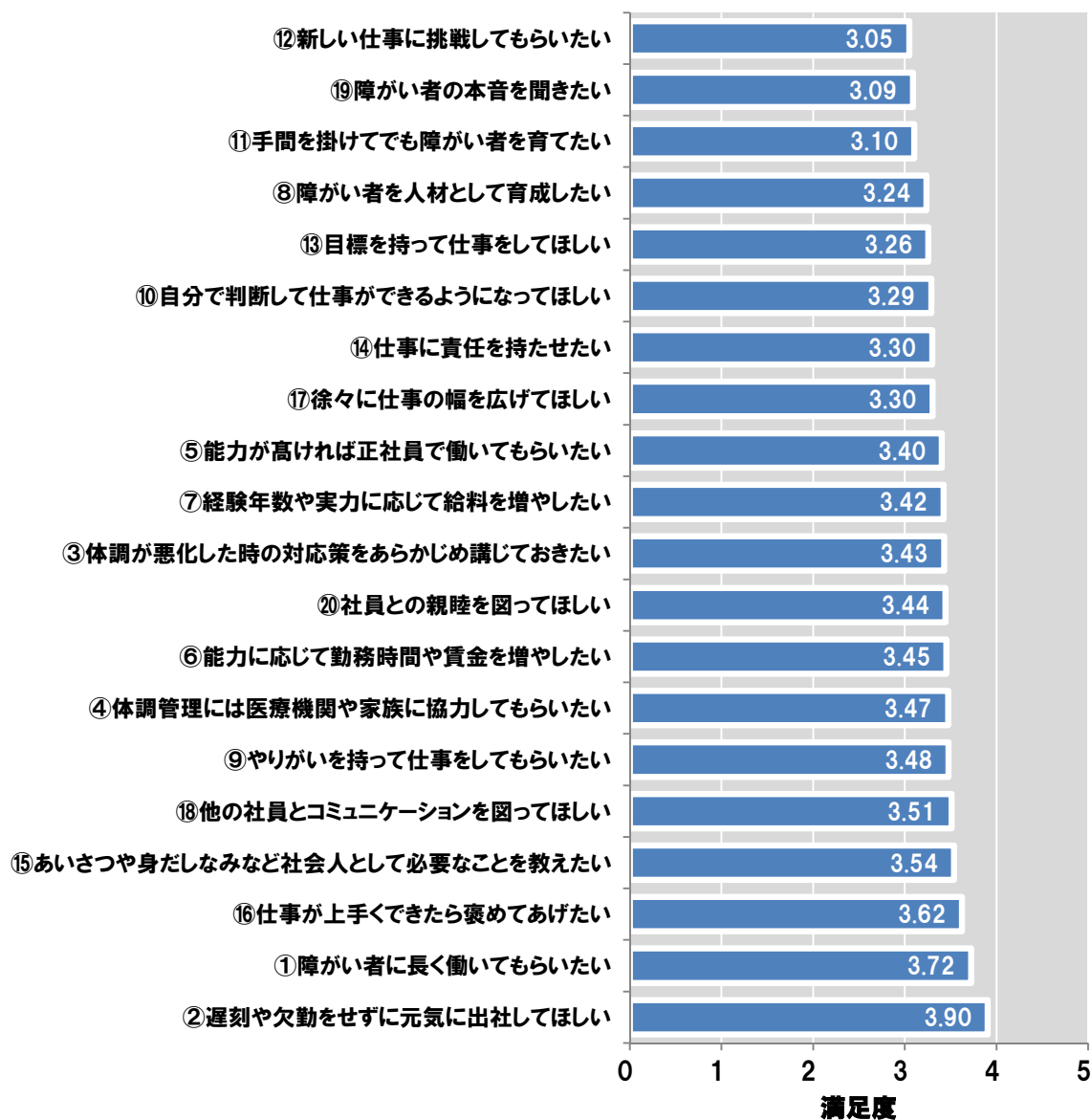


・重視度が強いニーズは、「遅刻や欠勤をせずに元気に出社してほしい」4.39、「障がい者に長く働いてもらいたい」4.28、「やりがいを持って仕事をしてもらいたい」4.26、「仕事が上手くできたら褒めてあげたい」4.23、「他の社員とコミュニケーションを図ってほしい」4.21、「体調が悪化した時の対応策をあらかじめ講じておきたい」4.14、「体調管理には医療機関や家族に協力してもらいたい」4.14である。

## ②障がい者の定着について

### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない  
2 あまり満足していない 1 満足していない

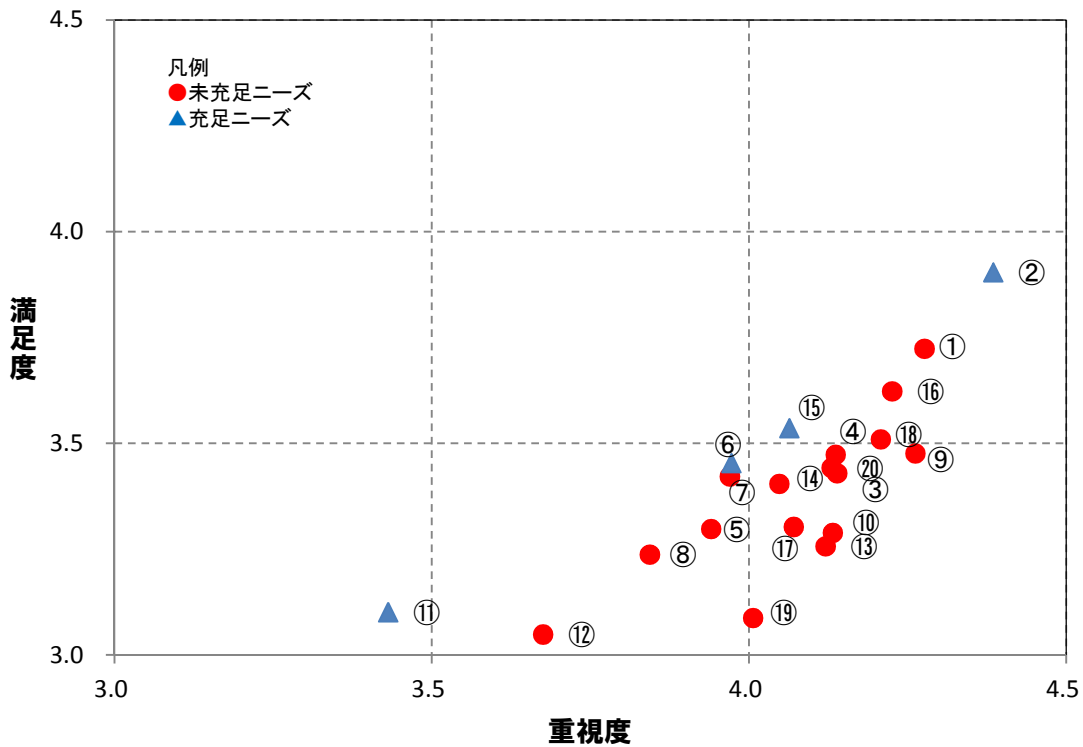


- ・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。
- ・その中で満足度が高かったのは、「遅刻や欠勤をせずに元気に出社してほしい」3.90、「障がい者に長く働いてもらいたい」3.72、「仕事が上手くできたら褒めてあげたい」3.62であった。
- ・最も満足度が低かったのは、「新しい仕事に挑戦してもらいたい」3.05、「障がい者の本音を聞きたい」3.09、「手間を掛けてでも障がい者を育てたい」3.10であった。

②障がい者の定着について  
ウ 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|        |                 |                   |                           |                       |                   |                              |                          |                  |                            |                        |                |                    |                    |                       |                   |                        |                                 |                        |                       |                      |
|--------|-----------------|-------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------------|--------------------------|------------------|----------------------------|------------------------|----------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-------------------|------------------------|---------------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|
|        | ①9 障がい者の本音を聞きたい | ①3 目標を持って仕事をしてほしい | ①0 自分で判断して仕事ができるようになってほしい | ①9 やりがいを持って仕事をしてもらいたい | ①7 徐々に仕事の幅を広げてほしい | ①3 体調が悪化した時の対応策をあらかじめ講じておきたい | ①8 他の社員とコミュニケーションを図ってほしい | ②0 社員との親睦を図ってほしい | ①4 体調管理には医療機関や家族に協力してもらいたい | ①5 能力が高ければ正社員で働いてもらいたい | ①4 仕事に責任を持たせたい | ①2 新しい仕事に挑戦してもらいたい | ①8 障がい者を人材として育成したい | ①6 仕事が入りすぎてきたら褒めてあげたい | ① 障がい者に長く働いてもらいたい | ①7 経験年数や実力に応じて給料を増やしたい | ①5 あいさつや身だしなみなど社会人として必要なことを教えたい | ①6 能力に応じて勤務時間や賃金を増やしたい | ② 遅刻や欠勤をせずに元気に出勤してほしい | ①1 手間を掛けてでも障がい者を育てたい |
| ①重視度   | 4.01            | 4.12              | 4.13                      | 4.26                  | 4.07              | 4.14                         | 4.21                     | 4.13             | 4.14                       | 4.05                   | 3.94           | 3.68               | 3.84               | 4.23                  | 4.28              | 3.97                   | 4.06                            | 3.97                   | 4.39                  | 3.43                 |
| ②満足度   | 3.09            | 3.26              | 3.29                      | 3.48                  | 3.30              | 3.43                         | 3.51                     | 3.44             | 3.47                       | 3.40                   | 3.30           | 3.05               | 3.24               | 3.62                  | 3.72              | 3.42                   | 3.54                            | 3.45                   | 3.90                  | 3.10                 |
| ①-②未充足 | 0.92            | 0.86              | 0.84                      | 0.79                  | 0.77              | 0.71                         | 0.70                     | 0.69             | 0.66                       | 0.64                   | 0.64           | 0.63               | 0.61               | 0.60                  | 0.55              | 0.55                   | 0.53                            | 0.52                   | 0.48                  | 0.33                 |



重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「障がい者の本音を聞きたい」0.92、「目標を持って仕事をしてほしい」0.86、「自分の判断で仕事ができるようになってほしい」0.84、「やりがいを持って仕事をしてもらいたい」0.79、「徐々に仕事の幅を広げてほしい」0.77、「体調が悪化した時の対応策をあらかじめ講じておきたい」0.71、「他の社員とコミュニケーションを図ってほしい」0.70などであった。



### ③障がい者就労の支援について

#### ア. 重視度

注:重視度 5 ぜひそうしたい 4 そうしたい 3 どちらともいえない  
2 そうしたくない 1 絶対そうしたくない



・重視度が4を越えたニーズはなかった。その中で重視度が強いのは、「現場の状況を踏まえた支援をしてほしい」3.93、「障がい者の特性や性格に合った支援をしてほしい」3.91、「会社ではできないことを支援機関にやってほしい」3.88、「障がい者だけではなく企業のことも考えて支援してほしい」3.88である。

### ③障がい者就労の支援について

#### イ. 満足度

注: 満足度 5 満足している 4 やや満足している 3 どちらともいえない  
2 あまり満足していない 1 満足していない

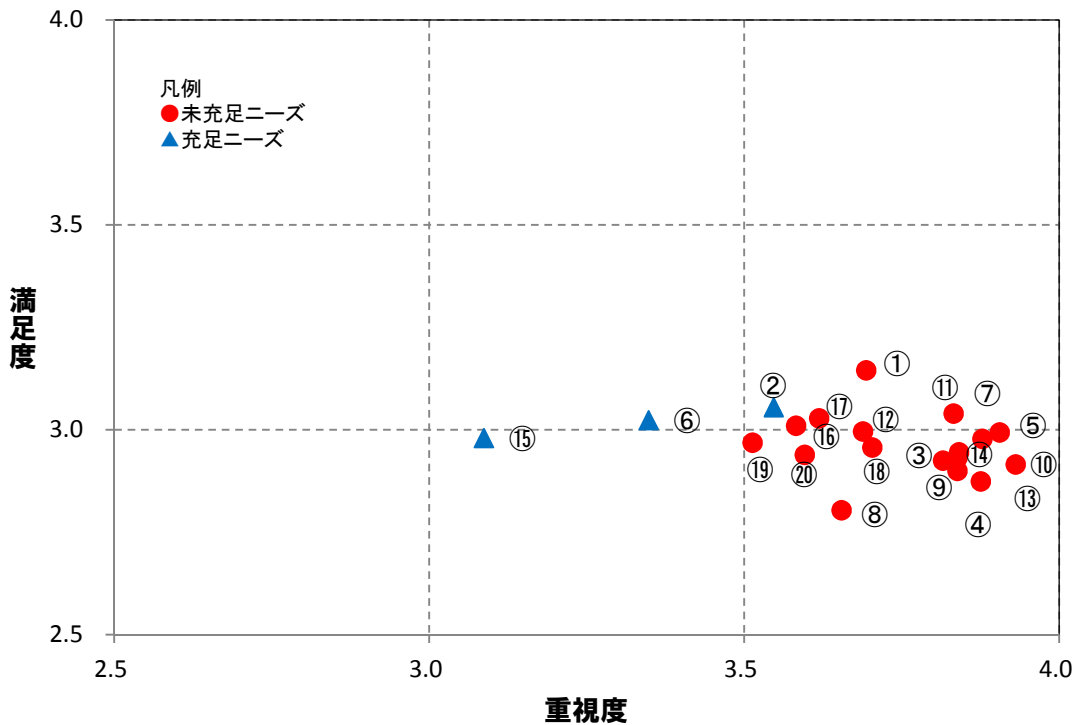


- ・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。
- ・満足度は全体的に低い結果となり、障がい者就労の支援に関するニーズが満たされていないことがわかった。
- ・最も満足度が低かったのは、「成功例など他の事例を紹介してほしい」2.80、「障がい者だけではなく企業のことも考えて支援してほしい」2.87、「助成金の利用について支援してほしい」2.90、「現場の状況を踏まえた支援をしてほしい」2.92、「最適な支援制度を教えてほしい」2.92であった。

③障がい者就労の支援について  
ウ 未充足度

注:①重視度及び②満足度は、小数点以下の数値を使用しているため、①-②未充足度に誤差が生ずることがある。

|        |                      |                              |                     |                          |                           |                          |                           |                   |                     |                 |                         |                      |                         |                    |                   |                    |                          |                    |                         |                       |
|--------|----------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|
|        | ⑩ 現場の状況を踏まえた支援をしてほしい | ⑬ 障がい者だけではなく企業のことも考えて支援してほしい | ⑨ 助成金の利用について支援してほしい | ⑤ 障がい者の特性や性格に合った支援をしてほしい | ⑭ 複数の支援機関が関わる場合は連携を図ってほしい | ⑦ 会社では出来ないことを支援機関にやってほしい | ④ 支援の制度や利用方法をわかりやすく示してほしい | ③ 最適な支援制度を教えてください | ⑧ 成功例など他の事例を紹介してほしい | ⑪ 親身になって支援してほしい | ⑱ 障がい者を傷つけない聞き方を充実してほしい | ⑫ 時々職場に顔を出して状況を見てほしい | ⑳ 障がい者だけではなく家族にも支援してほしい | ⑰ 障がい者の接し方を教えてください | ⑯ 生活の問題は支援員に相談したい | ① どんな支援機関があるのか知りたい | ⑱ 障がい者の衣食住に関する支援を充実してほしい | ② 障がい者就労の悩みを聞いてほしい | ⑥ 支援員に頼らず、出来ることは自社でやりたい | ⑮ 支援員には障がい者に厳しく接してほしい |
| ①重視度   | 3.93                 | 3.88                         | 3.84                | 3.91                     | 3.84                      | 3.88                     | 3.84                      | 3.82              | 3.66                | 3.83            | 3.70                    | 3.69                 | 3.60                    | 3.62               | 3.58              | 3.69               | 3.51                     | 3.55               | 3.35                    | 3.09                  |
| ②満足度   | 2.92                 | 2.87                         | 2.90                | 2.99                     | 2.93                      | 2.98                     | 2.95                      | 2.92              | 2.80                | 3.04            | 2.96                    | 3.00                 | 2.94                    | 3.03               | 3.01              | 3.14               | 2.97                     | 3.05               | 3.02                    | 2.98                  |
| ①-②未充足 | 1.02                 | 1.00                         | 0.94                | 0.91                     | 0.91                      | 0.90                     | 0.90                      | 0.89              | 0.85                | 0.79            | 0.75                    | 0.69                 | 0.66                    | 0.59               | 0.57              | 0.55               | 0.55                     | 0.49               | 0.33                    | 0.11                  |



・重視度から満足度を引いた未充足度の強いニーズは、「現場の状況を踏まえた支援をしてほしい」1.02、「障がい者だけではなく企業のことも考えて支援してほしい」1.00、「助成金の利用について支援してほしい」0.94、「障がい者の特性や性格に合った支援をしてほしい」0.91、「複数の支援機関が関わる場合は連携を図ってほしい」0.91、「会社では出来ないことを支援機関にやってほしい」0.90、「支援の制度や利用方法をわかりやすく示してほしい」0.90などであった。

# 自由意見

## (1) 障がい者を採用する場合に重視すること (注)数字は意見の数

- 勤労モラル 262  
遅刻・欠席がないこと 105 協調性 96 挨拶・返事 35 会社のルールが守れる 18 指示が守れる 5 清潔 2 守秘義務が守れる 1
- 人柄・性格 177  
真面目・勤勉性 115 明るい 15 素直 14 責任感がある 9 努力家 8 嘘をつかない 7 文句を言わない 3 穏やか・思いやり・謙虚外 6
- コミュニケーション能力 66  
コミュニケーションがとれる 66
- 本人の姿勢等 55  
前向きで意欲がある 45 自分で考え行動できる 10
- 作業能力 55  
仕事ができる 40 仕事に関係のある免許・資格がある 8 集中力がある 2 事務処理ができる 2 正確・PC使える・電話対応ができる 3
- 体調・生活管理 39  
健康 20 規則正しい生活 18 障がいの受入 1
- 常識 24  
社会の常識やマナーを理解している 24

## (2) 支援機関に行ってもらいたい障がい者への訓練・指導 (注)数字は意見の数

- 基本的労働習慣 188  
コミュニケーション 44 挨拶・返事 34 礼儀・接遇 32 敬語 25 身だしなみ 21 会社での態度・表情 11 働くことの意味・価値 7 集中力 5 目標管理外 9
- 職務遂行に必要な知識・技能 107  
PCを使った事務処理 69 書類作成 12 介護知識 10 電話対応 6 道具を大切に使う 3 運転免許 3 軽作業 3 掃除 1
- 日常生活管理 53  
社会人の常識・マナー 27 服装 12 生活リズムを整える 7 金銭管理 2 安全な生活 2 整理整頓 1 清潔感 1 移動能力 1
- 健康管理 9  
体調管理 4 心のケア 3 食生活 2
- 職場への適性 8  
強いところを伸ばす 4 障がい特性を説明できる 3 得意・苦手の理解 1
- 対人技能 7  
困ったときの対応 3 苦手な人との接し方 2 ストレス解消法 2

| ID  | 従業員数     | 産業分野        | 現在の雇用 | 過去の雇用 | 障がい者の就労及び定着についての自由意見  |
|-----|----------|-------------|-------|-------|---|
| 12  | 5～29人    | 製造業         | 有     |       | 他の従業員との間での信頼が築けるようになって欲しい。発言や、行動によって不和が生じることがある。真剣にとり組む集中力を養い、あてになる人間としての成長を望む  |
| 14  | 5～29人    | 製造業         | 有     |       | 障がい者の人にはできないこともたくさんあるが、見習うべき点もたくさんある。社員同士お互いに尊敬し合って仕事をすることが大切   |
| 47  | 5～29人    | その他         | 有     |       | 現在、1名を正社員として雇用しています。給料体系も同条件としています。提出書類はひらがなで提出しているため、少しずつではありますが、漢字(意味)の勉強を行っています。業務終了後面談を行い、良かった点や悪かった点、改善点について話をしています。本人も前向きであり、職員も障がいに対して理解を深めやすいと思います  |
| 60  | 30～49人   | 製造業         | 有     |       | 現在就労してくれている方は、とても真面目で明るく前向きに頑張ってくれています。彼が働きやすく生活していけるように気を配っています  |
| 79  | 30～49人   | 医療、福祉       | 有     |       | 現在、雇用中の職員は定期的に医療機関を受診していて、主治医の意見を聞くようにしている。又、職場でのトラブルに対する対応を主治医の意見を聞きながら回避するように対処している。(メールでやりとりしている)  |
| 103 | 50～99人   | 農業、林業       | 有     |       | 就労後の生活相談等を支援機関等で細かくしてほしい  |
| 107 | 50～99人   | 建設業         | 有     |       | 1人は長年我が社で就労しています。同じ現場で二人の障がい者が働かせる事はとても難しいことがあります。現在は別の場所で働いています。そしてできるだけ社内の祭り(忘年会、納涼会)に参加させています。現在では明るくなり社内での存在感も出ています   |
| 148 | 100～499人 | 農業、林業       | 有     |       | 他の事業体で正規の従業員以上に戦力になっているという良い話を聞いております。その場合、性格、特性に非常に適合した職業であったのだと思いますので成功事例として障がい者雇用につなげてほしいと思います。反面、成功するまでの企業の負担について支援を充実して頂きたいと考えます。支援制度の説明、成功事例の紹介が必要です  |
| 158 | 100～499人 | 製造業         | 有     |       | 障がい者の就労について、実習～入社～退職において、ハローワーク、支援機関のサポート体制をお願いします。定期的(1回/月程度)な訪問をして頂き、会社に言いづらい悩みや家庭生活をフォローしてください。長期的に就業してもらえそうな体制をお願いします   |
| 167 | 100～499人 | 金融業、保険業     | 有     |       | 会社では、障がい者の働く環境作りに取り組み、研修等を通じて障がい者の理解、支援など積極的に障がい者の雇用を行っています。何ができて、何を支援もしくはサポートすればお互いがスムーズに日常を過ごせるか、きちんと採用の時点でしっかり話ができれば、より良い環境になると思います  |
| 170 | 100～499人 | 宿泊業、飲食サービス業 | 有     |       | 日頃のコミュニケーションの量、少しの変化への気付き、小さなことでもほめる(小さな成功体験の積み重ね)が、長い雇用へとつながるのではないかと思う   |
| 179 | 100～499人 | 医療、福祉       | 有     |       | ハローワークをはじめ、雇用支援機構、ジョブ亀の子、ウインドさんにはいつもたいへんお世話になっております。支援機関の方のおかげで障がいのある方に定着してもらえていると思っております。より障がい者の方の雇用を行うには、障がい者の特性や性格にあった仕事を、現在自法人で行っている仕事から抽出し分業していくことが必要だと考えていますが、障がい特性等がわからないため実現できていません。支援機関等において、そのようなコンサル事業を行われたらぜひ活用したいと思っております。よろしく申し上げます |
| 191 | 100～499人 | その他         | 有     | ある    | 事務職に仕事が限られる場合、一般事務(人事・総務)・窓口事務(接客対応)どちらかになると思います。障がい者と健常者が同様に、同じレベルで、同じ業務を求める企業も増加しています。その為にも障がい者の方が、一般常識(挨拶・返事・言葉使い・身だしなみ)、接客マナー・電話対応等、できることが必須になると思います。支援機関で実情を把握され、障がい者雇用の拡大を期待します   |
| 192 | 100～499人 | その他         | 有     |       | 精神障がいがある方については、どのような特性があるのか、その個々人の内容(性格)を教えて、職場内にキチンと周知できるようにしてもらいたい  |

## 「障がい者・事業主双方のニーズ調査」報告書

島根県障がい福祉課ホームページに全部を掲載予定

新着情報 「障がい者・事業主双方のニーズ調査」報告書を掲載しました！

<http://www.pref.shimane.lg.jp/shogaisha/>